

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会

平成28年度社会福祉法人 西予市野城総合福祉協会事業報告書

はじめに

平成28年3月31日に、改正社会福祉法が成立し、同日公布されました。

この改革は、社会福祉法人の公益性・非営利性を確保する観点から制度の見直しがなされました。国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献するといった社会福祉法人が備えるべき本来の役割を強め、今後も社会福祉法人が福祉の重要な担い手として地域住民、ひいては国民の期待に応える存在であり続けることが求められています。

そういった中、当協会の地域貢献としては、地域のサロンに出向いて音楽療法や講演、相談等を行う「ハート&ハート事業」を実施し、地域の方に大変喜んでいただいている。他にも地域のニーズを把握し、地域における公益的な取り組みを広げていきたいと模索していますが、大きな成果は得られていません。しかし、高齢者部会では、野村高校で出前介護講座を行ったり、城川町にある2つの施設では、土居地区の高齢者支援を考える会の委員として、地域の問題把握に取り組んでいます。又、野城ふれあい館では、施設の開放を積極的に行っており、その中で、西予市社会福祉協議会主催の認知症予防講座を受講され、自主的な活動をされているグループの方々が、活動の場として野城ふれあい館を利用していただいている。地域でいつまでも元気で生活できる介護予防に繋がっていると思います。若い職員が企画する「野城ふれあい館の集い」では、大勢の方々にご来館いただきました。

一つ一つの取り組みは、いろいろな地域の方や関係機関の方との出会いがあります。出会いを大切にしながら、地域のニーズの把握に努め、地域における公益的な取り組みを加速させていきたいと考えます。

平成28年度は、第2期中長期計画の1つである職員の成長支援制度について、取り組みを始めました。平成30年度の導入に向け、平成29年度も引き続き行います。職員にとって、働き甲斐のある魅力ある職場作りを目指して、キャリアアップ制度を盛り込んでいきます。

利用者の方が安心して生活していただけるよう、職員のコミュニケーション力や技術向上を図るために、様々な研修を実施しました。職員も積極的に研修会に参加し、スキルアップに努めています。しかし、一方では地域の方から「職員が挨拶をしない。」「運転が危ない。」といった苦情もいただいている。笑顔で挨拶ができる人。思いやりのある人。協会の求める職員像として、職員皆で意識を高め徹底して参ります。

今後も地域の方々から信頼される社会福祉法人、親しみを感じていただける社会福祉法人となるよう努めて参ります。

I 基本理念

- 共生 ～ともに生きともに育つ～

II 基本方針

- 私たちは利用者の尊厳を大切にしともに歩みます
- 私たちは家族との絆をともに深めます
- 私たちは夢を持ち笑顔でともに邁進します
- 私たちは安心して暮らせる地域社会をともに築きます
- 私たちは法令を遵守し信頼される法人をともに目指します

Ⅲ 重点事項

①中長期計画の実践と検証

中長期計画の実践について、チェック項目を作成し検証を行いました。実践の評価を行々、平成29年度の取り組み内容として加えました。

②改正社会福祉法への対応

改正社会福祉法に沿った定款の変更や、評議員の選任等、手順に沿って行うことができました。平成29年度には、平成28年度決算における社会福祉充実残額の確定や新役員の選任等、引き続き実施する事項があるため、情報を収集し対応を行います。

③人材育成と人事考課制度の研究

人事考課制度について取り組みを始めました。協会では「成長支援制度」とネーミングしました。平成30年度導入を目指し、引き続き平成29年度も継続研究を行います。

人材育成について、平成28年度は次のリーダーとして期待する職員に対して、6回の研修を行いました。研修をシリーズ化することで、職員が自ら持っている創造性を発揮できるように構成しました。

④地域包括ケアシステム構築

西予市の地域包括ケアシステム人材育成プログラム開発会議等で、人材の育成事業や地域包括ケアシステム構築支援部会に参加しています。研修会にも多数の職員が参加しました。

高齢者が住み慣れた地域の中で安心して末永く暮らせるように、関係機関との連携を深め地域の実情に合わせた介護予防や日常生活支援を進めていきます。

⑤障害児入所施設事業の移行

平成24年4月に改正児童福祉法が施行され、障害児入所施設においては障害種別が一元化されるとともに、対象者は本来の児童として、18歳以上は障害者施策で対応することになりました。この改正により平成30年3月末の経過措置期間終了までに、(1)障害児施設として維持。(2)障害者施設に転換(3)障害児施設と障害者施設の併設、から選択し対応することとなっていました。しかし、移行手続き等について、具体的な方向性が示されないため当協会のみならず、県内、全国各地の同事業所でも進展がない状況でした。ようやく厚生労働省から同経過措置が平成32年度末まで3年間延期となる通知が平成29年3月に出ました。今後、行政機関と十分協議し協会の方針を決定したいと思います。

IV 事業実施状況

期日	事業名	場所	適要
4月1日	辞令交付式	育成園ホール	
4月14日	入札	野城ふれあい館	しいのき園第Ⅱ期空調設備工事
4月15日	第1回理事会	野城ふれあい館	
5月16日	菊池公認会計士決算精査	野城ふれあい館	平成28年度決算チェック
5月19日	内部監査	野城ふれあい館	平成28年度決算チェック
5月20日	法人監事監査	法正園・森美苑・夷伊子庄	平成28年度決算、業務監査
5月23日	法人監事監査	育成園・しいのき園・学園	平成28年度決算、業務監査
5月30日	第1回評議員会・第2回理事会	野城ふれあい館	
6月7日	リクルート 学校訪問	野村高等学校	
6月8日	リクルート 学校訪問	宇和高等学校	
6月9日	リクルート 学校訪問	北宇和高等学校	
6月15日	リクルート 学校訪問	川之石高等学校	
6月16日～17日	リクルート 学校訪問	岡山・広島方面	
6月17日	リクルート 学校訪問	徳島方面	
6月27日	リクルート 学校訪問	愛媛県内学校訪問	
7月31日	第1期職員採用試験	野城ふれあい館	
8月8日～22日	ストレスチェック実施	各施設	
8月31日	介護システム入札（3業者）	野城ふれあい館	法正園、しいのき園、森美苑使用
9月9日	第3回理事会	野城ふれあい館	
9月22日	協会奉仕作業・職員交流会	地域	
10月1日	第II期職員採用試験	野城ふれあい館	
10月15日	正職員登用者選考試験	野城ふれあい館	
10月25日	内部監査	野城ふれあい館	上半期会計チェック
10月28日	法人監事監査	法正園、野村学園	上半期会計チェック
10月31日	法人監事監査	法正園、野村学園	上半期会計チェック
11月11日	施設対抗ミニバレー大会	乙亥会館	
11月26日	第3回評議員会・第5回理事会	野城ふれあい館	
11月29日	ふれあい館第2駐車場土地売買契約締結	野城ふれあい館	
12月9日	第1次事業継続計画（BCP）訓練	協会全体	
12月9日	シェイクアウトえひめ（地震防災訓練）	協会全体	
12月20日	第4回評議員会・第6回理事会	野城ふれあい館	
12月20日	第1回西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会	野城ふれあい館	
1月10日	第2回西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会	野城ふれあい館	
2月12日	南予企業人材確保対策事業における保護者・高校生説明会	南予地方局	
2月15日	第7回理事会	野城ふれあい館	
2月23日	災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定調印式	西予市役所	西予市との協定
2月24日	評議員選任・解任委員会	野城ふれあい館	新評議員選任
3月2日	就職セミナー2017（inうわじま）	きさいや広番	
3月4日	ふれあい館の集い	野城ふれあい館	
3月5日	第5回評議員会・第8回理事会	野城ふれあい館	
3月5日	人事異動内示		
3月17日	菊池会計士会計指導	野城ふれあい館	
3月31日	退職者辞令交付式		

V 法人研修会

各階層に応じた研修会を行い、当法人で働く組織人として習得すべき知識や技能の向上を図り、組織マネジメントの強化を図るため実施しました。

No.	研修日	時間数	対象者	研修テーマ名	場所
1	6月7日	4時間	人事考課者研修会	講師：上野敬治 幹部職員16名	野城ふれあい館
2	6月14日	2時間	ネクストリーダー（接遇対応向上研修）	講師：大塚恭子 ネクストリーダー10名	野城ふれあい館
3	6月28日	2時間	ネクストリーダー（接遇対応向上研修）	講師：大塚恭子 ネクストリーダー10名	野城ふれあい館
4	7月5日	2時間	虐待研修	講師：鷹尾雅裕 職員201人	中央公民館
5	8月9日	2時間	ネクストリーダー（コミュニケーション研修）	講師：大塚恭子 ネクストリーダー10名	野城ふれあい館
6	8月16日	2時間	ネクストリーダー（コミュニケーション研修）	講師：大塚恭子 ネクストリーダー10名	野城ふれあい館
7	9月6日	2時間	虐待研修	講師：鷹尾雅裕 職員136人	中央公民館
8	10月3日	2時間	コミュニケーションのコツを学んで人間関係を楽しくしましょう	講師：杉本説二 地域住民、職員 142名	中央公民館
9	10月11日	2時間	ネクストリーダー（コーチング研修）	講師：大塚恭子 ネクストリーダー10名	野城ふれあい館
10	10月25日	2時間	ネクストリーダー（コーチング研修）	講師：大塚恭子 ネクストリーダー10名	野城ふれあい館
11	11月22日	2時間	継続研修発表会	職員、役員等 157名	野村育成園
12	3月27日	終日	新規採用者・中途採用者接遇研修会	講師：大塚恭子	ふれあい館
13	3月28日	終日	新規採用者施設内研修	講師：施設職員、包括支援センター職員	法正園
14	3月29日	終日	新規採用者施設内研修	講師：施設職員	法正園
15	3月30日	終日	新規採用者施設内研修	施設見学	各施設
16	3月31日	終日	新規採用者施設内研修	講師：施設職員	法正園

VI 成長支援制度の取り組み

期日	会議名	検討内容	場所
10月1日	プロジェクト会議（12名）	プロジェクト活動計画・人事制度に対するフリーディスカッション	野城ふれあい館
11月2日	事務局会（3名）	ビジョンシートについて・昇格・昇進体系について	野城ふれあい館
11月16日	プロジェクト会議（12名）	ビジョンシートについて・昇格・昇進体系について・教育資格一覧について	野城ふれあい館
12月1日	事務局会（3名）	ステップアップ基準について・役職手当・部門別成果票について	野城ふれあい館
12月21日	事務局会（3名）	キャリアアップイメージ・ステップアップ基準表・昇給昇格体系表について	野城ふれあい館
12月27日	プロジェクト会議（12名）	昇給昇格体系表・ステップアップ基準表・教育資格体系について	野城ふれあい館
1月11日	事務局会（3名）	昇給昇格体系表・ステップアップ基準表・教育資格体系・評価制度について	野城ふれあい館
2月4日	事務局会（3名）	昇給昇格体系表・ステップアップ基準表・教育資格体系・評価制度について	野城ふれあい館
2月13日	プロジェクト会議（12名）	管理職要件表・評価制度について	野城ふれあい館
3月14日	事務局会（3名）	人事評価の基本方針・評価制度について	野城ふれあい館

VII 理事会

第1回理事会

期日 平成28年4月15日(金)

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事9人、監事2人

案件

○ 報告

報告番号	件名
報告 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第2号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第1号)について
報告 第3号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第2号)について
報告 第4号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第3号)について
報告 第5号	惣川高齢者生活福祉センター関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第4号)について
報告 第6号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第5号)について
報告 第7号	寿栄苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第6号)について
報告 第8号	養護老人ホーム奥伊予荘運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第7号)について
報告 第9号	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の任命について
報告 第10号	平成27年度障害福祉施設等指導監査の実施結果について
報告 第11号	平成27年度老人福祉施設等指導監査の実施結果について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第1号	特別養護老人ホームしいのき園第Ⅱ期空調設備改修工事請負契約について

第2回理事会

期日 平成28年5月30日(月)

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事9人、監事2人

案件

○ 報告

報告番号	件名
報告 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第3号	共同生活事業所かぜ利用者預り金等管理規程の制定について
議案 第4号	養護老人ホーム奥伊予荘利用者預り金等管理規程の制定について
議案 第5号	指定障害者支援施設野村育成園利用者預り金等管理規程の全部を改正する規程制定について
議案 第6号	特別養護老人ホーム寿栄苑利用者預り金等管理規程の一部を改正する規程制定について

議案 第 7 号	平成 27 年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の認定について
議案 第 8 号	平成 27 年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の認定について
議案 第 9 号	平成 28 年度野村育成園拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 10 号	平成 28 年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 11 号	平成 28 年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 12 号	平成 28 年度法正園拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 13 号	平成 28 年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 14 号	平成 28 年度しいのき園拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 15 号	平成 28 年度寿楽苑拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 16 号	平成 28 年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第 1 号）について
議案 第 17 号	平成 28 年度奨学生事業拠点区分補正予算（第 1 号）について

第 3 回理事会

期 日 平成 28 年 9 月 9 日（火）

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事 9 人、監事 2 人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件	名
報告 第 13 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について	
報告 第 14 号	職員の懲戒処分（専決処分第 8 号）について	

○ 議案審議

議 案 番 号	件	名
議案 第 18 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会介護システム売買契約について	

第 4 回理事会

期 日 平成 28 年 11 月 14 日（月）

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事 7 人、書面表決理事 1 人、監事 2 人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件	名
報告 第 15 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について	

○ 議案審議

議 案 番 号	件	名
議案 第 19 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会正職員登用制度実施要綱の一部を改正する要綱制定について	
議案 第 20 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会嘱託職員登用制度実施要綱の一部を改正する要綱制定について	
議案 第 21 号	平成 28 年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会野城ふれあい館駐車場整備基本計画について	

議案 第22号	平成28年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第23号	平成28年度野村育成園拠点区分補正予算（第2号）について

第5回理事会

期 日 平成28年11月26日（土）
 場 所 野城ふれあい館
 出席人数 理事7人、書面表決理事2人 監事1人
 案 件

○ 報 告

報告番号	件 名
報告 第16号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第17号	平成28年11月25日施行入札結果について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第24号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第25号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第26号	土地の取得について

第6回理事会

期 日 平成28年12月20日（火）
 場 所 野城ふれあい館
 出席人数 理事8人、監事2人
 案 件

○ 報 告

報告番号	件 名
報告 第18号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第19号	平成28年度老人福祉施設等指導監査の実施結果について
報告 第20号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会の委嘱について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第27号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の変更について
議案 第28号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
議案 第29号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会の委員の選任について
議案 第30号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第31号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第32号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について

第7回理事会

期日 平成29年 2月15日(水)
 場所 野城ふれあい館
 出席人数 理事7人、監事1人

案件

○ 報告

報告番号	件名
報告 第21号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第33号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会新評議員候補者の推薦について
議案 第34号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会の招集について
議案 第35号	平成29年度共同生活事業所かぜ「あさかぜホーム」建築計画について

第8回理事会

期日 平成29年 3月15日(水)
 場所 野城ふれあい館
 出席人数 理事9人、監事1人

案件

○ 報告

報告番号	件名
報告 第22号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第23号	平成28年度第1回社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会議事録の提出について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第36号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会経理規程の全部を改正する規程制定について
議案 第37号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第38号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第39号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第40号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第41号	平成28年度野村育成園拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第42号	平成28年度野村学園成人部拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第43号	平成28年度野村学園児童部拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第44号	平成28年度法正園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第45号	平成28年度憩川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第46号	平成28年度しいのき園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第47号	平成28年度寿楽苑拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第48号	平成28年度奥伊予荘拠点区分補正予算(第2号)について

議案 第49号	平成28年度奨学金事業拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第50号	平成29年度給食業務委託契約更新について
議案 第51号	平成29年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第52号	平成29年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第53号	平成29年度野村学園成人部拠点区分収支予算について
議案 第54号	平成29年度野村学園児童部拠点区分収支予算について
議案 第55号	平成29年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第56号	平成29年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第57号	平成29年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第58号	平成29年度寿楽苑拠点区分収支予算について
議案 第59号	平成29年度奥伊予荘拠点区分収支予算について
議案 第60号	平成29年度奨学金事業拠点区分収支予算について
議案 第61号	施設長任免について
議案 第62号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款施行細則の全部を改正する細則制定について

VII 評議員会

第1回評議員会

期　日 平成28年5月30日（月）

場　所 野城ふれあい館

出席人数 評議員17人、監事2人

案　件

○ 報告

報告番号	件名
報告 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第2号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第1号）について
報告 第3号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第2号）について
報告 第4号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第3号）について
報告 第5号	惣川高齢者生活福祉センター関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第4号）について
報告 第6号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第5号）について
報告 第7号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第6号）について
報告 第8号	養護老人ホーム奥伊予荘運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第7号）について
報告 第9号	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の任命について
報告 第10号	平成27年度障害福祉施設等指導監査の実施結果について
報告 第11号	平成27年度老人福祉施設等指導監査の実施結果について
報告 第12号	特別養護老人ホームしいのき園第Ⅱ期空調設備改修工事請負契約について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第 1 号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第 2 号	共同生活事業所かぜ利用者預り金等管理規程の制定について
議案 第 3 号	養護老人ホーム奥伊予荘利用者預り金等管理規程の制定について
議案 第 4 号	指定障害者支援施設野村育成園利用者預り金等管理規程の全部を改正する規程制定について
議案 第 5 号	特別養護老人ホーム寿楽苑利用者預り金等管理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第 6 号	平成27年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の認定について
議案 第 7 号	平成27年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の認定について
議案 第 8 号	平成28年度野村育成園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 9 号	平成28年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 10 号	平成28年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 11 号	平成28年度法正園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 12 号	平成28年度懇川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 13 号	平成28年度しいのき園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 14 号	平成28年度寿楽苑拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 15 号	平成28年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第 16 号	平成28年度奨学金事業拠点区分補正予算（第1号）について

第2回評議員会

期日 平成28年11月14日（月）

場所 野城ふれあい館

出席人数 評議員15人

案件

○ 報告

報告番号	件名
報告 第13号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第14号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会介護システム売買契約について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第17号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会正職員登用制度実施要綱の一部を改正する要綱制定について
議案 第18号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会嘱託職員登用制度実施要綱の一部を改正する要綱制定について
議案 第19号	平成28年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会野城ふれあい館駐車場整備基本計画について
議案 第20号	平成28年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第21号	平成28年度野村育成園拠点区分補正予算（第2号）について

第3回評議員会

期　日　平成28年11月26日（土）

場　所　野城ふれあい館

出席人數　評議員15人

案　件

○ 報告

報告番号	件　名
報告 第15号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第16号	平成28年11月25日施行入札結果について

○ 議案審議

議案番号	件　名
議案 第22号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第23号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第24号	土地の取得について

第4回評議員会

期　日　平成28年12月20日（火）

場　所　野城ふれあい館

出席人數　評議員18人

案　件

○ 報告

報告番号	件　名
報告 第17号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第18号	平成28年度老人福祉施設等指導監査の実施結果について
報告 第19号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会の委嘱について

○ 議案審議

議案番号	件　名
議案 第25号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の変更について
議案 第26号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第27号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第28号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について

第5回評議員会

期　日　平成29年3月15日（水）

場　所　野城ふれあい館

出席人數　評議員16人

案　件

○ 報告

報告番号	件　名
報告 第20号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第29号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会経理規程の全部を改正する規程制定について
議案 第30号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第31号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第32号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第33号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第34号	平成28年度野村育成園拠点区分補正予算（第3号）について
議案 第35号	平成28年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第36号	平成28年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第3号）について
議案 第37号	平成28年度法正園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第38号	平成28年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第39号	平成28年度しいのき園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第40号	平成28年度寿楽苑拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第41号	平成28年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第42号	平成28年度奨学金事業拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第43号	平成29年度給食業務委託契約更新について
議案 第44号	平成29年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第45号	平成29年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第46号	平成29年度野村学園成人部拠点区分収支予算について
議案 第47号	平成29年度野村学園児童部拠点区分収支予算について
議案 第48号	平成29年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第49号	平成29年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第50号	平成29年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第51号	平成29年度寿楽苑拠点区分収支予算について
議案 第52号	平成29年度奥伊予荘拠点区分収支予算について
議案 第53号	平成29年度奨学金事業拠点区分収支予算について
議案 第54号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款施行細則の全部を改正する細則制定について

IX 専門委員会実施状況

委員会	実施回数	内 容
統括委員会	14	経営管理・整備・研究
主任補佐会	1	情報伝達・職場環境整備
広報委員会	6	広報誌3回発行、協会パンフレット、ホームページ作成
エルダー委員会	3	エルダー制度の目的確認、各施設への周知、制度の構築
研修委員会	9	虐待研修会、地域連携講演会、継続研修会等の計画実施
総務・財政委員会	7	経営分析、労務管理、事務効率化、規則整備の準備
種別部会（高齢者福祉部会）	9	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
種別部会（障害・児童福祉部会）	7	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
中長期委員会	4	計画策定、状況確認、評価
ステップ委員会	11	奉仕作業、地域行事参加、ボランティアコーディネート、ふれあい館のつどい開催
危機管理委員会	2	感染症対策（BCP策定）（BCP）訓練
安全衛生委員会	1	ストレスチェック制度実施説明

X ハート&ハート

【確認】

社会福祉法人における地域貢献に向けた「1法人（施設）1実践」活動を実践します。

【事業目的】

社会福祉法人の使命である「地域福祉における福祉の増進」の一環として、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を目指します。法人が自ら地域の中に入していくことで、潜在的な地域のニーズを把握し、法人としての今後のサービスの展開に結び付けていく。

また法人・個人としての技術・技能を地域に提示していく過程において、そのスキルアップや人材の育成に結び付けていきます。

【事業内容】

野村町内や城川町内のいきいきサロンに出向き、ミュージック・ケアや和みの場を体験していただく。謝礼や講師料、交通費は無料とします。

ミュージック・ケアについては、その技術を提供できる職員1名と出来るうる範囲でサブの職員が同行します。

平成28年度においては、特に奨学金制度の説明を行い、法人の広報活動の一端を担うことを中心掛けました。

【周知方法】

- 1、社協と連携し、町内のいきいきサロン役員へチラシの送付
- 2、地域包括支援センター、生活福祉課への依頼

	実施日	地区名	会場
1	5月14日	本町2丁目	集会所
2	5月27日	本町3丁目	集会所
3	6月10日	氏宮	集会所
4	6月14日	退職女教師の会	ふれあい館
5	6月16日	城川①	高川改善センター
6	6月22日	中屋敷	集会所
7	7月7日	松尾	集会所
8	7月31日	太田	集会所
9	8月10日	久保谷	集会所
10	9月5日	城川②	高川改善センター
11	9月9日	城川③	高川改善センター
12	9月14日	大西	集会所
13	9月20日	権現	集会所
14	9月26日	城川④	高川改善センター
15	10月7日	旭	集会所
16	10月12日	岩村	集会所
17	11月9日	荒瀬	集会所
18	11月16日	木落	集会所
19	11月21日	本町1丁目	集会所
20	12月9日	城川・陰の地	集会所
21	12月15日	城川・土居	集会所
22	12月20日	城川・菊の谷	集会所
23	2月7日	城川・魚成古市	集会所
24	2月21日	松渓	集会所
25	2月23日	城川・今田	集会所
26	3月14日	城川・田穂	集会所

【反省と今後の課題】

平成25年度から始まったハート&ハート事業ですが、今年度は新たに6カ所のサロンから依頼があったことは、大きな成果であったと考えます。その地域の参加者からは「こんなに楽しいなら、来年も是非来てほしい」との声も頂いており、継続して行えるようにしていく必要があります。

また、本来、和みの場の提供を目指しており、ミュージック・ケア以外の職員の技術や知識を提供する場としていたため、No.24の松渓地区では、ハンドセラピーの資格を取得した職員が同行し、ハンドケアを施術することで好評を得ることができたことは大きな収穫でした。

しかし、それ以上に広げていくことが出来なかつたことは反省すべき事柄であり、法人全体で今一度考えていく必要があるのではないかと感じています。

その他法人の奨学金制度について、身近なところで説明を行い、法人に対する共感や理解を得ることが出来たのではないかと考えます。

今後においても、施設の利用者以外の方と身近にかかわることのできる機会を最大限に利用していくことのできる場としての意識を持ちながら、各施設の広報活動の場として活用するなどの方向性を確立する意味でも、各施設に情報発信をおこない、法人全体で取り組んでいく体制の確立を目指したいと思います。

XI 事業所別事業報告

【障害・児童福祉部】

障害事業分野ではまず、設備整備として「ふれあい館」が駐車場不足で不便を來していたことから、新たに土地を取得し「第二駐車場」を設け改善を図りました。また、老朽化したGHを新たな場所に建設する準備計画を進めているところです。

次に、利用者へのサービス提供については、従来通り基本的人権を尊重する視点から、個別のニーズやプライバシー配慮を心がけてきましたが、平成28年4月より「障害者差別解消法」の施行に伴い、事業者には合理的配慮が努力義務化されることになりました。従って、よりニーズに沿ったサービスが求められることになり、専門職としての知識や技術、人権意識の向上を図る必要性が生じています。

また、児童事業においては城川地区の小学校統合に伴い、新たに「放課後児童健全育成事業所城川キッズ」の運営を開始しました。

もともと城川地区は児童数も少なく、定員利用数の確保が見込みにくかったことから、既に運営している「のむらキッズ」と一体的運営を実施する事で効率化を図り、大きな支障もなく運営する事が出来ました。

さらに、社会貢献活動の一環として、大学・短大・専門学校等からの教育実習学生や保護観察対象者のボランティア活動受け入れ、各種団体との交流会、ハート&ハート事業等実施しました。今後も、引き続きサービスの質向上、社会貢献が図れるようにして行きたいと思っております。

1. 障害者支援施設野村育成園

(1) 行動指針

生活の場と活動の場を提供すると共に、日常生活又は社会生活を営むことができるよう個々に合った相談援助、支援をしていきます。

利用者や家族の意向を把握し、職員間で連携してサービスの充実・質を上げていけるよう努めています。

①人権の尊重

利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立った障害福祉サービスの提供に努めています。

②人材育成

諸々の障害の特性を把握出来るよう、研修会や講習会等への参加、資格取得等を行い自らを成長させていきます。

③地域福祉への貢献

施設や、職員の持っている知識、資格を生かし、地域福祉の増進に貢献していきます。

(2) 重点事項

①機能低下防止の取り組み

利用者さんの高齢化重複化が進んでおり、加齢によるカラダの機能低下を少しでも緩やかなものにしようと、機能訓練の内容を変更し取り組みました。創作活動を取り入れることで、利用者さんから「もっとやりたい」「たのしい」等の声が聞かれるようになり、利用者さんにとって退屈気味であった機能訓練から、楽しみのある機能訓練へと変わりつつある。職員からは、貼り絵、塗り絵等だけではなく、リハビリを兼ねたゲーム等を行ってはどうかとの意見も出るようになりました、職員の意欲向上といった効果もみられました。

②個別支援計画の充実（合理的配慮）

定期的なカンファレンスを実施し、利用者様やご家族のニーズに基いたサービスの提供を行いました。ご家族さんの要望であった日帰り帰省や施設に入所している母親に里帰りを兼ねて面会する事が実現出来、ご家族の方も喜んで頂きました。本人のニーズに基き、魚釣り等の個別外出に今まで以上に取り組みました。

また、ご家族の都合に応じて、カンファレンスを土日にも実施しました。カンファレンスを実施する際には、相談支援事業所こすもすの職員が参加したり、入退院時のカンファレンスでは、関係機関を交えての話し合いが出来ています。

③高齢化・看取り対策検討

28年度は、癌にて3名、誤嚥性肺炎にて2名、急性肝不全にて1名の計6名が死亡退所老健施設へ1名の方が異動されました。入院等も長引く傾向が見られました。育成園の高齢利用者様の引受人の多くが甥、姪等であり、現段階では、育成園での看取りを要望される方はいなかつたが、今後の対応として、喀痰吸引等の資格取得やご家族様が付き添える環境等の整備を視野に入れて動いていく必要があると思います。

④施設入所者定員数の確保

概ね30名前後の待機者はいるものの、実際に声掛を行うと、現段階では入所を希望されないケースや障がい特性により大幅な環境の変化に順応するまでに、一定期間を要するケースが多く、スムーズな入所には繋がらない状況です。（入所を前提に短期入所の利用を数ヶ月繰り返すも、ご本人の状態悪化により、入所には結び付かなかった。）

長期入院される利用者様が多く稼働率の低下となつたが、地域のニーズに応えるべく、在籍者数に余裕のあった生活介護で通所のサービスを開始し、利用者数の確保に努めました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	日中活動の充実	・機能訓練や創作活動、園外歩行等、個々の能力や状態に応じた活動に取り組み、日中活動の充実を図りました。
	利用者様の意向にそったケアの実施	・定期的なカンファレンスを実施し、利用者様やご家族のニーズに基いたサービスの提供を行いました。（ケア会議へのご家族、ご本人の参加率アップを図り、54名のご家族が参加して頂きました。） ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	ご家族との連絡の徹底	・ご家族が来園されたときや広報誌を利用して、園での様子を伝えました。 ・各担当者がご家族に電話連絡を行い、利用者様の近況報告などを行っています。
	ご家族との信頼関係作り	・ご家族さんへ出納帳のコピーを送付しました。 ・広報誌にご家族からの質問内容も掲載し、信頼関係の構築に努めました。
	ご家族との交流	・観月会、清掃活動、乙亥相撲親戦など、ご家族と交流できるような行事を行いました。
	美味しい楽しめる食事の提供	・食作りやおやつ作り等を行い、美味しい楽しめる食事の提供に努めました。 ・選択メニューの際には合理的配慮として、利用者様一人一人に写真を見もらいながら、本人が食べたい物を選んで頂いています。 ・寮や個別での外食を取り入れ、楽しんで頂きました。
	利用者様の安全確保と事故防止	・事故報告書やヒヤリハットにおいて、モニタリングを行い再発防止に努め、事故報告の件数は減ったが、高齢化・重度化による疾病や転倒など難しい一面がありました。

	身体拘束・虐待防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 苦情、虐待、拘束等の報告は、毎月適切に報告され対応できました。 家族からの申し出を公表していく体制をとり、迅速な対応を心掛けました。
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 職員からの持込をなくし、一丸となって取り組んだ事で、集団感染ゼロを実施することができました。
施設設備の充実	スプリンクラー設置	<ul style="list-style-type: none"> 消防法に基き、のぞみ棟にスプリンクラー設備を設置しました。
	居室の改修	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化、重度化に伴いあさひ寮居室の改修を行いました。
	安心して、楽しく暮らせる環境作り	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様にあった食事用テーブルや椅子を適宜見直し対応しています。
	幼稚園との交流会	<ul style="list-style-type: none"> 草植え、芋掘り体験とホールにて交流会を実施しました。
	地域行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> 地方祭や地域のイベント夜市等に参加し、地域の方と交流することができました。
	ボランティアの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みボランティア活動での小学生の受け入れ、中学生の「福祉」体験学習ボランティア受け入れを行いました。 地域の方のボランティア受け入れ、腹話術や歌を通して交流を図る事ができました。
地域との連携	広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の広報誌発行に加え、ホームページでも園での様子を随時発信しました。
	地域団体との交流	<ul style="list-style-type: none"> 南予地区人権・同和教育研究協議会にて、グループホームの取り組みを発表しました。
	社会貢献の実施	<ul style="list-style-type: none"> 保護観察者社会貢献活動の受け入れを行い、一緒に清掃活動を行いました。
	地域貢献、ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> 地域のサロンに出向くハート&ハート、わくわくミュージック、保健師や地域包括センター等の依頼による各種教室などで、ミュージックケアを年間で72回実施することにより、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を意識付けていく事に繋がったと思われます。
	内部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1度、車椅子介助、食事介助を疑似体験を交えての研修や、褥瘡、感染症、強度行動障害についての研修を実施しました。
職員の質の向上	虐待についての研修会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果からテーマを絞り、各事業所の様々な業種の職員でグループワークを行い、虐待防止に向けての意識を各職員が再度学びました。
	園内伝達研修	<ul style="list-style-type: none"> 出張や各研修先で学ばれた介護技術等を職員が講師となり、伝達講習会を実施した。
	普通救命救急	<ul style="list-style-type: none"> 西予市消防署野村支所より2名の方に講師として来て頂き、普通救命救急3時間講習を実施し、27名の職員が参加しました。
	エルダー制度の運用	<ul style="list-style-type: none"> エルダー制度の運用をし、新人教育を行うと共に、先輩となる職員の育成に努めました。
	稼働率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化、重度化に伴い長期入院される方が多く、稼働率の低下となつたが、通所生活介護利用者を受け入れ、稼働率の向上と単価のアップを図りました。
経営基盤の強化	設備に対してのコストダウン	<ul style="list-style-type: none"> ホール・食堂の蛍光灯を段階的にLED化し、全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。
	コピー使用に対してのコストダウン	<ul style="list-style-type: none"> リース料及びカウント料金の見直しにより、コストダウンが図れました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	<ul style="list-style-type: none"> 各自が事前に申し出ることで、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> のいくネットワーク委員会にて、業務の見直し等の検討を行いました。
	職員間の懇親会	<ul style="list-style-type: none"> 育成園互助会のピアガーデン、観月会等を行いました。
	労働災害の防止	<ul style="list-style-type: none"> 腰痛を予防する為、車椅子に乗ったまま体重が量れる体重計を購入、業者による腰痛予防の講習も行いました。

(4) 行事計画

月	行 事	各種大会・研修会	家族・地域の行事
4月	希望外出 (お花見等)		県総会 (理事会・運営委員会) 南予総会(理事会) 家族会総会 出納帳送付
5月	希望外出 健康診断(1回目)	県障害者スポーツ大会 南予ソフトボール大会 第1回園内職員研修会	家族会役員会 広報誌発行
6月	希望外出	第1回施設長会 南予地区予選ソフト大会(県) 福祉のつどいソフト大会(県) 新任研修会 南予レクバレー大会	幼稚園(芋植え交流会) 家族ふれあい行事
7月	希望外出 夜市外出	四国地区施設長会 中国・四国地区職員研修会 第2回園内職員研修会	土曜夜市 出納帳送付
8月	希望外出 利用者納涼祭	第1回職員研修会 四国地区職員研修協議会 青年部夏季研修会	
9月		全国知的障害者職員研修会	広報誌発行
10月	希望旅行	第3回職員研修会 福祉まつり 全国障害者スポーツ大会	幼稚園(芋掘り交流会) 家族ふれあい行事 出納帳送付
11月	希望旅行 健康診断(2回目) 乙亥祭・収穫祭 インフルエンザ予防接種	第2回施設長会 南予施設会研修会 ゆうあいスポーツ四国 第4回園内職員研修会	家族ふれあい行事(乙亥)
12月	クリスマス会&忘年会 餅つき・大掃除	南予企画委員会 青年部冬季研修会	家族会役員会
1月	希望外出 初詣	運営委員会・施設長会・第6回園内職員研修会 障害者支援施設部会全国大会	広報誌発行 出納帳送付
2月	節分 希望外出	四国地区施設長会	
3月	お別れ遠足	南予球技大会実行委員会	家族会役員会
各月	利用者集会(自治会隔月)、避難訓練、誕生会、職員会(隔月)、各寮会、研修委員会 運営委員会、生活保健給食環境、安全衛生管理委員会、機能訓練スタッフ会、 のいくネットワーク(サービス・苦情・虐待・拘束) 支援体制委員会、イベント委員会		
適宜	入所検討委員会、防災対策委員会、エルダー会		

(5) 施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,400	2,220	92.5%	98.1%
5	2,480	2,371	95.6%	97.3%
6	2,400	2,310	96.3%	97.4%
7	2,480	2,329	93.9%	93.7%
8	2,480	2,259	91.1%	95.3%
9	2,400	2,280	95.0%	95.4%
10	2,480	2,339	94.3%	94.5%
11	2,400	2,224	92.7%	97.8%
12	2,480	2,319	93.5%	97.8%
1	2,480	2,294	92.5%	95.3%
2	2,240	2,092	93.4%	95.9%
3	2,480	2,337	94.2%	91.5%
合計	29,200	27,374	93.7%	95.8%

(6) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,760	1,630	92.6%	98.1%
5	1,760	1,685	95.7%	98.6%
6	1,760	1,690	96.0%	97.5%
7	1,840	1,729	94.0%	94.1%
8	1,840	1,687	91.7%	95.9%
9	1,760	1,676	95.2%	95.7%
10	1,840	1,735	94.3%	94.5%
11	1,760	1,631	92.7%	97.9%
12	1,840	1,759	95.6%	99.7%
1	1,840	1,745	94.8%	97.7%
2	1,600	1,514	94.6%	96.1%
3	1,840	1,783	96.9%	91.5%
合計	21,440	20,264	94.5%	96.4%

入所者障害支援区分別 (H29年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
2	13	34	28	5.14

男性 43名

女性 34名

平均年齢

59.1歳

2. 共同生活事業所かぜ

(1) 行動指針

- ①地域の共同住宅において、利用者が共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて介護、相談その他日常デイリーリングの援助を適切かつ効果的に行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- ③地域や家庭との結びつきを重視し、市町村、他の障害福祉サービス事業者、その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めます。
- ④利用者の障害について正しく理解し、エンパワーメントの観点を大切にし、より自立した生活ができるよう支援します。
- ⑤職員は専門性を高め、相互の連携を密にし良好なチームワークの確立に努め、関係法令を遵守した支援を行います。

(2) 重点事項

①夜間支援従事者の配置

利用者の高齢化、重度化に対応すべく、宿直を行う夜間支援従事者を配置し、夜間及び深夜の時間を通じて、定期的な居室の巡回や緊急時の支援等を提供できる体制を確保しています。また、宿直ホーム以外のホームについては、必要な防災体制または利用者に病状の急変その他の緊急事態が生じたときに、利用者の呼び出し等に速やかに対応できるよう、常時の連絡体制を確保しています。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	利用者の意向にそった支援の実施	・定期的なカンファレンスを実施し、「おもいマップ」を利用して、ご本人の思いを大事にした個別支援計画を作成し、支援の実施に努めました。
	ご家族との連絡の徹底	・野村育成園家族会等や日々必要に応じて連絡を行いました。
	ご家族との交流	・野村育成園家族会行事等(納涼祭等のふれあい行事)を通して交流を行いました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・日々の生活の中で食事作りの手伝いをしていただきました。 ・世話人研修会として市の栄養士等による食事作りに関する研修を行いました。
	利用者の安全確保と事故防止	・通勤等や日々の生活の中で危ない場面があったとの報告を受けました。その都度話をし、また利用者自治会等で交通ルールに関する話をしました。
	身体拘束・虐待廃止対策	・当事業所には苦情はありませんでしたが、GH利用者から関係事業所に苦情がありました。当事業所としても虐待防止のために話し合いを行いました。 ・世話人研修会として虐待についての研修会を行いました。
	感染症の予防	・世話人研修会として、市の保健師に講師を依頼し「感染症対策」についての研修を行いました。 ・感染症対策セットの中身の見直しを行いました。 ・3月にインフルエンザ2名発症しましたが、感染が拡がることなく終息しました。

施設設備の充実	各ホームの修繕	・各ホームの設備に不具合がある箇所については家主に依頼中です。 ・きぼうホームについては、建築後の確認があった際に業者に床等の不具合を伝え、修繕していただきました。
	安心して暮らせる環境作り	・特に高齢の方が多いホームについては、脱衣所にヒーターを設置しました。 ・老朽化したホームの新築に向け動いています。(H29年度建設予定)
地域との連携	地域行事への参加	・地方祭や地域のイベントに参加し、地域の方と交流することができました。また、町内会の奉仕作業に参加されたり、駅伝の選手として参加をされました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・サビ管、支援員については野村育成園の職員研修に2ヶ月に1度参加しました。その他に「世話人研修会」として、「栄養」「感染症対策」「虐待」について研修をしました。
	外部研修への参加	・サビ管、支援員については「お金の勉強会」等の利用者支援に繋がる研修会へも参加をしました。
経営基盤の強化	稼働率の向上	・前年度とほぼ同じでした。(利用状況参照)
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・各自が事前に申し出ることで、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	・事務作業の効率化を図るため、業務を分担しました。
	職員間の懇親会	・野村育成園互助会の行事、野城ふれあい館の他事業所との交流に参加しました。
	労働災害の防止	・労災事例はありませんでした。

(4) 行事報告

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月	桃源郷マラソン(松野) れんげ祭り(宇和)		
5月	朝霧湖マラソン 南予ソフトボール大会 定期健診 県障害者スポーツ大会	国内研修会(支援)	
6月	南予レクバレー大会 県ソフトボール大会 家族ふれあい行事 県障害者スポーツ大会(ギクリング)		
7月	自治会そうめん流し 土曜夜市外出 あわしまさま外出	国内研修会(普通救命)	
8月	家族会ピアガーデン		盆踊り 野村ダム花火大会
9月	こまどり号歯科検診 協会奉仕作業	国内研修会(虐待)	
10月	福祉まつり(南予福祉施設会) 家族ふれあい行事 野村学園50周年記念祭 健康ウォーク(野村)		希望旅行(そよかぜホーム:沖縄) 地方祭 たんぽぽ工房まつり

11月	インフルエンザ予防接種 自治会旅行（岡山方面） 乙亥祭（家族会） マンダリンパイレーツ交流会	園内研修会（感染症） 世話人研修会 (栄養・感染症)	西予市定期健診
12月	自治会忘年会 大掃除		
1月	初詣 野村町駅伝大会		
2月	野村支部駅伝	園内研修会 (強度行動障害) 世話人研修会（虐待）	
3月	歌謡ショー外出（松前）		
毎月	運営委員会・のいくネットワーク・世話人スタッフ会・研修委員会		
定期	カンファレンス・職員会（2ヶ月に一回）		
随時	避難訓練・地域行事外出・内部研修会・法人研修会		
毎日	ラジオ体操		

（5）利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	690	689	99.9%	99.9%
5	713	709	99.4%	97.1%
6	690	689	99.9%	99.9%
7	713	713	100.0%	99.4%
8	713	701	98.3%	97.5%
9	690	678	98.3%	98.7%
10	713	709	99.4%	99.6%
11	690	690	100.0%	99.7%
12	713	700	98.2%	97.1%
1	713	696	97.6%	97.2%
2	644	644	100.0%	100.0%
3	713	709	99.4%	99.3%
合計	8,395	8,327	99.2%	98.8%

入居者支援区別

(H29年3月末現在)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	1	17	5	0	0

平均区分度 3.17

男性 17名 女性 6名

平均年齢 53.1歳

3. ヘルパーステーション・ハート

(1) 行動指針

指定障害福祉サービスである居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護と移動支援（地域生活支援事業）の事業を通じ、利用者さんに必要なサービスを提供し、地域生活を支えていきます。

① 人権の尊重

利用者様一人ひとりの意見や人格を尊重し、利用者さまの立場に立ったサービスの提供に努めます。

② 人材育成

安心・安全なサービスが提供できるよう、知識とスキルの向上を目指し、研修や資格取得の機会を設けます。

③ 地域福祉への貢献

いつまでも、その人らしく、その人が望む生活ができるよう地域社会を支えるお手伝をします。

(2) 重点事項

- ① 利用者様の意思を尊重します。
- ② 個々に応じたサービスを提供します。
- ③ 信頼関係を築きます。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
在宅・居住 サービス	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅者に対する、自宅での介護等を行いました。 ・家事援助～掃除・洗濯・調理等 ・身体介護～入浴・更衣等 ・通院等介助～病院、官公庁等への移動
	同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供(代読・代筆を含む)等の、外出支援を行いました。
	行動援護	知的障害または精神障害により行動上著しく困難を有する方であって、常時介護を要する方に、危険を回避するために必要な支援・外出支援を行いました。
地域生活 支援事業	移動支援	障害者・児であって、市町村が外出に支援が必要と認めた方に屋外での移動・外出のための安全確保等の支援を行いました。
サービス 向上	利用者の意向に 沿った支援の実施	適宜、カンファレンスを実施し、利用者様の思いを汲み取り環境に見合った適切なサービスの提供を心掛けています。
	地域との連携	共同生活援助事業所(かぜ)・相談支援事業所(こすもす)・野村育成園・他の居宅事業所等と連絡調整、情報交換を継密に行うことで、円滑な運営やサービスの提供が出来るよう努めています。また、スタッフ間での情報共有にも努めてきました。
	スキルアップ	施設内の研修や他機関の講習等、積極的に参加し、資格取得や自己研鑽に努めています。 【平成28年度取得者】 同行援護従業者資格・・2名 介護福祉士・・1名

強度行動障がい者に対する知識と資格取得	研修参加	外部支援事業(ここはうす)主催の研修会に任意で参加し、知識習得を図りました。 強度行動障がい支援者養成研修～サビ提・兼務ヘルパー発達障がい研修～サビ提・従業者
	手順書作成	30年度に向けての手順書作成に着手、草案作成を行いました。 手順書と連動したチェックシート完成に向け、準備中です。

平成28年度サービス実績(延べ件数)			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護	家事援助	知的	8	10	12	9	8	7	8	6	9	9	10	12	108
		精神	25	22	23	25	22	21	23	21	22	19	20	13	256
		身体	1	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	身体介護		27	14	16	14	16	15	13	14	16	13	14	13	185
	通院等介助		0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
	同行援護		5	3	6	7	4	4	3	4	3	3	3	3	47
	行動援護		6	8	9	10	11	9	7	7	9	8	10	7	101
	移動支援		9	11	4	5	6	6	6	4	3	6	6	5	71
	計		81	72	73	72	67	63	60	57	62	59	63	54	783

(4) 行事報告

月	業 務	研 修 (O J T)	その他の行事
4月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援 家族会総会	新任職員研修	松野町桃源郷マラソン 宇和町れんげまつり
5月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援 定期健診	国内研修(虐待) 同行援護(基礎)研修	県障害者スポーツ大会
6月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	同行援護(応用)研修 同行援護(基礎)研修	障害者スポーツ大会 えがおのつどい(家族会)
7月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	同行援護(応用)研修 国内研修(救命救急講習)	
8月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		ピアガーデン (家族会)
9月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	国内研修(虐待)	協会奉仕作業
10月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		頃そよかぜ旅行 家族ふれあい行事(家族会)福祉まつり
11月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	国内研修(感染予防)	乙亥祭(家族会) GH自治会旅行
12月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	強度行動障害支援者養成(基礎)研修	大掃除
1月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	強度行動障害支援者養成フォローアップ研修	
2月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	国内研修(強度行動障がい者について)	
3月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	強度行動障害支援者養成(実践)研修	
備考	・スタッフ会(毎月)・職員会・委員会・避難訓練 ・常勤、兼務者との連携を図りながら臨時、依頼に対応します。		

4. 就労支援事業所あおぞら

(1) 行動指針

適切な環境と管理のもとに、利用者の方の能力と特性に応じた支援を行い、福祉的就労の場、日中活動の場として地域社会で生活できるよう支援します。又、就労や生産活動の機会を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を適切かつ効果的に行います。

(2) 重点事項

- ①あおぞらの生産物（花・野菜・お弁当・お菓子等）や役務（除草・剪定等）の質・信頼度の向上。
- ②農園芸、配食、店舗が一体となった生産・販売による作業収益・工賃の向上。
- ③就労移行支援（職場実習・各種勉強会への参加）

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
農園芸	花・苗販売	季節ごとの花苗や野菜苗つくり、西予市内外の直売所、町内の園芸店等への出荷販売を行いました。 主な出荷先：どんぶり館、きなはいや、百姓百品（宇和、松山）など
	外部委託・内職	剪定や除草、企業の内職作業の受託等により農閑期の作業量確保、収益の確保に努めました。 主な取引先：個人、共立電気、商工会、レイクゴルフ、大森産業など
配食	お弁当・惣菜	通常のお弁当以外の特別注文や休日のイベント食等にも対応し収益アップを図りました。 1日の弁当数：190～220食 特別食：議会弁当、会席弁当など
	菓子製造	デザインや食のアドバイザー等の意見を参考に商品の質の向上販促に向けて取り組みました。 目標：事業所オリジナルの商品、野村のお土産となるような商品つくり
店舗	営業日	より効率的に利用者支援を行うため、毎日毎の売上実績等分析し営業日の見直しを行いました。 H29.2から平日のみ営業（休日のイベント等には対応）
	地域貢献	各種イベントへの参加・協力、また、店舗営業など地域との交流を図りました。 朝霧湖マラソン、夜市、ふれあい館まつりなど
就労支援	就労支援	関係機関の勉強会等への参加を積極的に促し、就労スキルの向上や外部の方達との交流を図りました。 研修等の内容：ビジネスマナー、お金の使い方、P C教室、職場見学など
	就労職場定着	今年度2名が就職し、3名の就職実績となった。 (就職先：松屋旅館、勝山荘、だんだん) 一定の職場定着率を満たしたため、29年度から就労移行支援体制加算の対象となった。
工賃実績	平均工賃月額	17,632円（時給換算：171円）県平均：公表8月頃 H27年度実績：17,156円（時給換算165円） 〃 県平均：16,204円 一定の支給額を満たしているため、加算の対象となっている。※目標工賃達成加算（Ⅲ）

(4) 行事報告

月	事業名	各種 大会	家族・地域行事等
4月	春野菜・花苗販売 果物皮剥ぎ作業		家族会総会(弁当)
5月	共立電気花壇管理 ふるさとづくり栽培管理 朝霧湖マラソン封入/清掃作業 定期健診(利用者・職員) スタッフ研修(ラッピング講習) 利用者研修会(就労)	南予福祉施設会 ソフトボール大会 県障害者スポーツ大会	朝霧湖マラソン 老施設演芸大会(弁当)
6月	芋植え交流会 野城ふれあい館避難訓練	南予福祉施設会 レクバレー大会 県障害者スポーツ大会 (ボーリング) 県ソフトボール南予大会	えがおのつどい(弁当)
7月	就労支援事業所合同説明会 ふれあい館避難訓練 利用者研修会(就労)スタッフ研修 (新任職員研修、救命救急・虐待)	県レクバレー大会	商店街夜市
8月	利用者研修(交流会) スタッフ研修 (職員研修、園芸施設見学)		
9月	共立電気花壇管理 ふるさとづくり栽培管理 あおぞら・たんぽぽ合同避難訓練 社会見学外出(松山) 利用者研修会(就労)		老施設演芸大会(弁当) ファッショントーク たんぽぽ工房祭(出店)
10月	幼稚園芋ほり交流 利用者研修(就業セミナー)スタッフ研修 (虐待、地域連携、セルフフォーラム えひめ、就労支援セミナー、プラッシュアップ、中四国就労研修)	ゆうあいスポーツ四国大会 南予福祉まつり	家族会講演会(弁当) 安穀寺イベント
11月	収穫祭 玉葱苗販売 利用者研修(就労、パソコン) スタッフ研修 (継続研修、プラッシュアップ)		かぜ自治会旅行 乙亥祭り
12月	大掃除 寄せ植え講習会(阿下、商工会) 利用者研修(パソコン教室) スタッフ研修(就労支援、プラッシュアップ)		
1月	利用者研修(就労、パソコン) スタッフ研修(発達障害、プラッシュアップ)		町駅伝大会
2月	春野菜・花苗播種開始 利用者研修(就労、パソコン) スタッフ研修(就労、農福連携)		
3月	ふれあい館のつどい スタッフ研修 (プラッシュアップ) 避難訓練(地震・火災・風水害)		ノルディックウォーク
毎月 その他	スタッフ会		
	※ 定期的に大洲・八幡浜圏域の就労支援事業所やハローワーク、就業・生活センター、共同受注窓口等、関係機関との連絡会等に参加し情報を共有している。		

5. 相談支援事業所こすもす

4-1. 特定相談支援事業、障害児相談支援事業（西予市指定）

（1）行動指針

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱えるニーズ及び地域課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細やかな支援を行います。

（2）重点事項

- ①本人の思いを重視したサービス等利用計画の作成、モニタリングの実施
- ②地域課題の掘り起こし、関係機関との連携強化
- ③特定事業所加算の確保
- ④G S V研修への参加・実施

4-2. 一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)（愛媛県指定）

（1）行動指針

長期入院、入所している方が地域生活へ移行するための支援や、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行い、地域生活の継続を目指します。

（2）重点事項

- ①地域移行支援会議への出席
- ②精神保健関係機関との連携
- ③週1回以上の対面を伴う訪問相談、情報提供、同行支援

4-3. 西予市委託相談支援事業

（1）行動指針

相談支援を通じ、西予市障害者(児)の生活の援助を行います。

（2）重点事項

- ①障害者相談支援事業
- ②成年後見制度利用支援事業
- ③西予市自立支援協議会への意見上申
- ④基幹相談支援センター、地域生活支援拠点等の整備に向けた動き
- ⑤障害者虐待防止法及び障害者差別解消法に伴う合理的配慮の推進

4-4 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
特定相談支援事業、障害児相談支援事業 (西予市指定)	利用者様の意向にそったサービス等利用計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 面談、聞き取りにて利用者の方のニーズをしっかりと把握することで本人が安心して生活出来る計画の作成を行ないました。 年間計画作成数：143件
	定期的なモニタリングと計画作成の更新	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた定期的なモニタリングを行ない、サービスの軌道修正、見直し、支援体制、計画の変更など問題解決に努めました。 年間モニタリング作成数：321件
	障害児相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援事業所、特別支援学校との提携を行ない、本児及び保護者の意向を汲み取りながら、定期的な学校の進路学習会にも出席し、進路やサービス利用の相談等を行ないました。 昨年の夏休み期間では野村学園児童部(就学児を対象)へ町営プールの活用を提案し管理している公民館へ依頼、日中活動で利用され児童達も喜ばれた。
	各事業所との連携(サビ管との連携)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に各事業所を訪れ、サビ管や担当職員と情報共有を行ないました。必要時にはカンファレンスも開催し問題解決に努めました。
	スキルアップ研修の参加	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県相談支援協会主催の専門コース別研修等への参加、加算確保の為の相談支援従事者現任研修の参加も行ないました。
一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援) (愛媛県指定)	地域移行支援会議の参加	<ul style="list-style-type: none"> 八幡浜保健所から会議出席の依頼があり毎回出席、医療機関や保健師との情報共有に努めています。事例があれば受け入れ体制を整えていますが支援会議で決定者が挙がってこないこともありますが平成28年度では対象利用者はありませんでした。
西予市委託相談支援事業	相談を通じた支援	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の携帯電話にて24時間365日体制で受け付けています。休日などの電話相談にも対応できました。 定期的な自宅訪問を行ない、現状把握に努めています。 問題や依頼があれば随時訪問させて頂き支援しています。 年間延利用者数：891人 年間相談件数：1837件
	自立支援協議会への意見上申	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、市役所にて西予市相談支援定例会を開催し、精神障害者社会復帰連絡会等から地域課題の抽出を行ない、自立支援協議会の議題を出してはいますが、本会が開催されていないのが現状です。

各市町と連携を取りながら、必要なサービス、希望するサービスを利用できるよう動いている。現在も担当利用者数が多いが、計画やモニタリングの件数をこなすことではなく、正確なアセスメントやモニタリング、その方に合った福祉サービスへ繋げる支援を行なっていくことが課題である。

三人体制により加算(計画、モニタリングそれぞれ1件につき3,000円)を取れる事業所体制を確保しています。

4-5 実施事業

月	業務内容	OJT	OFFJT
4月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う。	相談定期会議	愛媛県相談支援協会総会 南予相談支援専門員連絡会 相談支援定例会
5月	*計画立案、サービス担当者会議の開催	相談定期会議	地域移行支援会議 相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会
6月	*状況に応じたモニタリングの実施	相談定期会議	相談支援定例会 関係機関連絡会 地域移行支援会議 精神保健連絡会
7月	*関係機関との連絡調整	園内研修(救命救急) 相談定期会議	南予相談支援専門員連絡会 相談支援定例会
8月	*制度についての理解を深める研修への参加	相談定期会議	相談支援専門コース別研修 地域移行支援会議 相談支援定例会
9月	*自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	園内研修(虐待防止法) 相談定期会議	県自立支援協議会調整会 特別支援学校進路学習会 相談支援定例会
10月		相談定期会議 園内研修(成年後見)	相談・就業セミナー(東京) 相談支援定例会
11月		園内研修(感染症) 相談定期会議	精神障害者社会復帰連絡会 相談支援定例会
12月		相談定期会議	地域移行支援会議 成年後見制度研修会 高次脳機能障害連絡会 相談支援定例会 特別支援学校進路学習会
1月		園内研修(強度行動障害) 相談定期会議	南予相談支援専門員連絡会 精神障害当事者交流会 相談支援定例会
2月		相談定期会議	関係機関連絡会 県自立支援協議会 地域移行支援会議 相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会
3月		相談定期会議	高次脳機能障害連絡会 相談支援定例会

*研修会等あれば、積極的に参加をし、自己研鑽を図っていく。

4-6 利用者利用状況等

現在、相談支援事業所こすもすが担当させて頂いている利用者数表。

地域		GH	育成園	学園	計		
95							
身体 14名	知的 51名	精神 29名	発達 5名	23	80	67	265

6. 指定障害者支援施設野村学園

(1) 行動指針

- ①利用者の尊厳を大切にします
- ②家族との絆を深めます
- ③職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤法令を遵守します

(2) 重点事項

①安心、安全で楽しく生きがいのある生活

個人の特性を理解するとい共通認識のもと、利用者一人一人に応じた言葉かけや支援を行うことにより、安心して生活できる環境作りに取り組みました。また、日中活動では、園周辺や、園外の公園に出かけ季節を感じながら歩行を行いました。

他にも、ミュージック・ケアやダム周辺の清掃ボランティア活動等楽しく張り合いが持てる活動に取り組みました。安全な生活を送る為に、毎月危険箇所チェックを行い修繕を行いました。また、離園される利用者がいるため、事故のないよう見守りに十分配慮しました。

②障害差別の解消

毎日勤務する職員の顔写真を掲示板に貼り、名前の読めない利用者にも目で見てわかるようにしました。また、選択メニューを写真で掲示し、利用者全員が指差しでも意思表示できるようにしました。おやつも利用者の希望を聞き、食べたいものを栄養士と利用者で協力して作り好評を得ました。公共交通機関の利用、市役所での住民票等取得の際にも、職員が付き添い手順を解りやすく説明しました。

③報告、連絡、相談の充実

朝礼では重要事項のみ報告すること、寮会・職員会ではレジメを早めに配布し、細かい内容について事前に寮内で話し合いを行う事により、スムーズで円滑な連絡・報告が出来るようになりました。会議時間の延長も無く、時間内で会議を終えることが出来ました。リーダーやサビ管に相談しやすい雰囲気作りにも努め、職員間での問題や悩み等が伝わりやすく、解消できるようになりました。職員数が多く、また会議録確認不足等で、全体の周知徹底が出来ていない時もありました。

④節約の取り組み

暖房においては、エアコンは出来る限り使用せず、安全面に十分に配慮してファンヒーターを使用し、電気代を節約しました。入浴のお湯を溜める時間や乾燥機を使用する時間を各寮時間差にして、一度に極端に電気料が上がらないように留意しました。

(3) 事業報告 1

①創立50周年に伴う行事の充実

50周年に伴う記念誌と「どろんこのうた」本の発刊、各種作品展を実施しました。式典では多くの来賓、関係者に出席していただき、利用者やご家族にも楽しんでいただき盛大に開催することができました。

②個別支援の向上

少人数での個別外出、利用者の得意分野に応じた地域行事やスポーツ大会等への参加など個別支援の向上に努めました。

③サービス管理体制の充実

サービス管理責任者の知識・技術の向上をはじめ、職員全体の質の向上を目指して、全国レベルの研修会等に参加し、情報収集や動向の把握に努めました。研修会で学んできたことを園内研修等で取り入れ、サービス向上に向けて寮毎の事例発表会を毎年恒例の取り組みとして定着することが出来ました。

(4) 事業報告 2

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
利用者支援	個別支援の充実	・半年置きにカンファレンスを実施し、本人の想いをもとに、またご家族のご意向等踏まえて個別支援計画書を作成し、共通理解のもと計画書にそって支援を行いました。個別外出等、個々のニーズに応じて楽しみのある生活を送っていただけるよう努めました。
	体力維持・向上	・日中活動に歩行運動を多く計画し、歩行距離を設定し数値化して、目標を持ったり意欲を高めたりできるよう努めました。
	衛生管理	・國內、寮内、居室の清掃・整理整頓に心がけ、また感染症対策等に常に留意して、清潔に気持ちよく過ごしていただきました。(基本)入浴支援は毎日行い、身体の清潔保持や異変等の早期発見に留意しています。
	生活支援の充実	・散髪、髭剃り、季節に応じた衣服の着用等、身なりを整えたり、また好みの衣服が着れるよう支援を行いました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・食事やおやつに関する、管理栄養士と気軽に話が出来る環境作りを心がけ、日清との話し合いにて出来る範囲で、利用者の希望を取り入れながら、楽しみな食事・おやつの提供が出来ています。
	身体拘束・虐待防止対策	・全職員「虐待防止チェック」を定期的に行ったり、園内研修や外部研修会に参加したりして、身体拘束・虐待防止対策に取り組んでいます。
保護者・家族等の連携	保護者との連絡	・月1回程度は、担当より保護者に近況報告等、連絡を取るようにしています。また広報誌「あさぎりの鐘」を年に数回発行し、園の行事や様子を伝えています。
	保護者との意見交換	・保護者会定例役員会を年3回、総会・保護者会交流会(保護者間の意見交換会)を年1回行っています。保護者会交流会での意見・提言等をまとめて園に提出していただき、園から次年度の総会(4月)にて回答させていただいている。
	保護者との交流	・野村学園50周年記念行事に多くの方に参加していただきました。今後も保護者の方と楽しく交流できる行事(運動会・学園祭)を設けていく予定です。
職員の資質	園内研修会の実施	・園内研修担当職員を決めて、年間計画に沿って園内研修会を実施しました。出来るだけ多くの職員が研修に参加できるよう、研修日・時間等に配慮しました。
	各研修会への参加	・年間の職員出張計画を作成し、計画的に県内外の研修会に参加してもらいました。その他の研修会や地域で開催される研修会においては希望を募り、積極的に研修会・勉強会に参加してもらっています。
	エルダー制度の活用	・エルダー制度を導入し、チェックリスト等活用して新人育成を行いました。チェックリストの項目・内容等を他の職員も見たり改めて知ったりすることによって、全職員のレベルアップを図ることが出来ています。
地域連携	ボランティア活動	・日中活動の時間に、道路清掃や野村ダム周辺のごみ拾いを実施しました。
	あさぎり湖マラソンのボランティア	・あさぎり湖マラソン大会で、給水・ミストシャワーのボランティア活動を行い、利用者の方も沿道で応援を行いました。

地域行事への参加	・地方祭、バラ大師大祭、地域のイベント、野村高校運動会等に参加し、地域の方と交流しました。	
事業運営の向上	稼働率の安定化	・年間通して定員満床を維持できており、稼働率も高い数字で維持できています。
	加算が取れる体制	・常勤看護職員等配置加算～H28.5.1より開始 ・療養食加算(1名)～H29.3.1より開始 ・重度障害者支援II加算～強度行動障がい支援者養成研修、基礎研修・実践研修修了者3名
	設備に対してのコストダウン	・全職員が節電に対する意識を持ち、デマンド対策に取り組み、コスト削減が出来ました。
	リフレッシュ休暇の計画的取得	・計画的に取得できるように調整し、職員のストレス軽減に取り組みました。

(5) 行事報告

月	行 事	研修(OJT)	その他
4月	遠足 内科検診 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修	保護者会総会 広報誌発行
5月	各種検査1回目 あさぎり湖マラソン大会 愛媛県障害者スポーツ大会 南予福祉施設会 ソフトボール大会(当番施設) 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	第1回園内研修会	大瀬中学校 交流会
6月	南予福祉施設会 バレー大会 ソフトボール大会(県予選) 火災避難訓練及び消火訓練 希望外出	新任職員研修会 全国知的障害関係 施設長等会議(神奈川) 第1回施設長会	広報誌発行
7月	夏祭り 夜市外出 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会(香川) 四国地区施設長会 第2回園内研修会 (普通救命救急講習)	第1回保護 者会役員会
8月	野村ダム花火見物 希望外出 お盆休み送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	青年部夏季研修会 第1回職員研修会 第3回園内研修会	
9月	希望別旅行 希望外出 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練	第2回職員研修会 第4回園内研修会	保護者会研 修会 広報誌発行
10月	野村学園50周年記念行事 希望別旅行 福祉まつり 地方祭外出 ゆうあいスポーツ四国大会 火災避難訓練及び消火訓練	第3回職員研修会	

11月	マンダリンバイレーツ交流会 希望外出 各種検査2回目 乙亥祭外出 火災避難訓練及び消火訓練 インフルエンザ予防接種	第2回施設長会 南予福祉施設会研修会 第5回園内研修会	保護者会交流会
12月	クリスマス会、希望外出 大掃除 年末年始送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	第6回園内研修会 南予企画委員会	広報誌発行
1月	初詣 もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	青年部冬季研修会 県施設長会 第7回園内研修会	第2回保護者会役員会
2月	希望外出 節分まめまき 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会 第8回園内研修会	広報誌発行
3月	遠足 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練		第3回保護者会役員会
毎月行事	*職員会、各寮会 *総務委員会、自立支援衛生推進委員会、防災対策・事故防止委員会 日中活動委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、・エルダー委員会(年3回) 苦情解決虐待防止委員会(随時) 広報委員会(随時)		

(6) 利用者状況等

1. 入所利用者数 (単位:人)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
26年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
27年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
28年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

2. 利用者状況 (H29年3月末現在) (単位:人)

障害者支援施設	平均年齢		障害支援区分			
	44		区分1	0	区分4	5
実人員	男	22	区分2	0	区分5	15
40	女	18	区分3	0	区分6	20
平均支援区分		5.37				

(H29年3月末現在) (単位:人)

年齢別(歳)	20~29	30~39	40~49	50~54	55~59	60~64
男性利用者	3	2	15	2	0	0
女性利用者	1	1	12	3	0	1

3. 職員配置 (単位:人)

職種	管理者	事務員	管理栄養士	看護師	施設運営の 担当者	サビ管	生活支 援員	計	
								常勤	非常勤
職員数	1(兼)	1	1	1	1	1	23	19	4

4. 保育実習生受け入れ状況

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
27年度	0	0	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
28年度	0	0	2	0	0	0	4	4	2	2	0	0

7. 障害児入所施設野村学園（第二障害者支援施設野村学園）

（1）行動指針

- ①利用者の尊厳を大切にします
- ②家族との絆を深めます
- ③職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤法令を遵守します

（2）重点事項

①安心、安全で楽しく生きがいのある生活

個人の特性を理解するとい共通認識のもと、利用者一人一人に応じた言葉かけや支援を行うことにより、安心して生活できる環境作りに取り組みました。また、日中活動では、園周辺や、園外の公園に出かけ季節を感じながら歩行を行いました。

他にも、ミュージック・ケアやダム周辺の清掃ボランティア活動等楽しく張り合いが持てる活動に取り組みました。安全な生活を送る為に、毎月危険箇所チェックを行い修繕を行いました。また、離園される利用者がいるため、事故のないよう見守りに十分配慮しました。りに十分配慮しました。

②障害差別の解消

毎日勤務する職員の顔写真を掲示板に貼り、名前の読めない利用者にも目で見てわかるようにしました。また、選択メニューを写真で掲示し、利用者全員が指差しでも意思表示できるようにしました。おやつも利用者の希望を聞き、食べたいものを栄養士と利用者で協力して作り好評を得ました。公共交通機関の利用、市役所での住民票等取得の際にも、職員が付き添い手順を解りやすく説明しました。

③報告、連絡、相談の充実

朝礼では重要事項のみ報告すること、寮会・職員会ではレジメを早めに配布し、細かい内容について事前に寮内で話し合いを行う事により、スムーズで円滑な連絡・報告が出来るようになりました。会議時間の延長も無く、時間内で会議を終えることが出来ました。リーダーやサビ管に相談しやすい雰囲気作りにも努め、職員間での問題や悩み等が伝わりやすく、解消できるようになりました。職員数が多く、また会議録確認不足等で、全体の周知徹底が出来ていない時もありました。

④節約の取り組み

暖房においては、エアコンは出来る限り使用せず、安全面に十分に配慮してファンヒーターを使用し、電気代を節約しました。入浴のお湯を溜める時間や乾燥機を使用する時間を各寮時間差にして、一度に極端に電気量が上がらないように留意しました。

（3）事業報告 Ⅰ

①創立50周年に伴う行事の充実

50周年に伴う記念誌と「どろんこのうた」本の発刊、各種作品展を実施しました。式典では多くの来賓、関係者に出席していただき、利用者やご家族にも楽しんでいただき盛大に開催することができました。

②個別支援の向上

少人数での個別外出、利用者の得意分野に応じた地域行事やスポーツ大会等への参加など、個別支援の向上に努めました。

③サービス管理体制の充実

サービス管理責任者の知識・技術の向上をはじめ、職員全体の質の向上を目指して、全国レベルの研修会等に参加し、情報収集や動向の把握に努めました。研修会で学んできたことを園内研修等で取り入れ、サービス向上に向けて毎年の事例発表会を毎年恒例の取り組みとして定着することが出来ました。

(4) 事業報告 2

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
利用者支援	個別支援の充実	個別外出や調理実習等を定期的に実施し楽しみのある生活が送っていただけるように努めました。本人・家族の想いを汲みこんだ個別支援計画書を作成し、支援を行いました。
	休日の学童支援	長期休暇の日中一時の利用者増加により、学童支援があまり実施できませんでした。
	体力維持・向上	日中活動に歩行運動を多く取り入れ体力作りに取り組みました。
	衛生管理	対外出、感染症流行時期以外は毎日入浴し、清潔に過ごすことが出来ました。
	生活支援の充実	副担当制を導入し、男女が協力して生活支援を実施することができました。取り組み回数にはばらつきがありました。
	美味しい食事の提供	選択メニュー・バイキングなど美味しい食事の提供が出来ました。
	虐待防止・身体拘束防止対策	職員に対する虐待チェックを定期的に実施し、園内研修でも虐待防止に取り組みました。
保護者・家族等の連携	保護者との連絡	月1回保護者に連絡を取っています。また、広報誌を年4回タイムリーに発行して園の様子を伝えました。
	保護者との意見交換	保護者会交流会で出た施設への意見に対して解答書を作成し報告しました。
	保護者との交流	50周年記念行事、夏祭り等保護者と交流できる行事を実施しました。
職員の資質	園内研修会の実施	年間計画に沿って研修会を実施することができました。
	エルダー(新人教育)の導入	エルダー制を導入し、新人教育を行いました。
	各研修会参加	地域で開催される研修会の情報を職員全員に提供し、希望の研修会に参加してもらいました。
地域連携	ボランティア活動実施	日中活動の時間に、道路清掃やゴミ拾いを実施しました。
	あさぎり湖マラソンボランティア	あさぎり湖マラソン大会で、給水・ミストシャワーのボランティア活動を行い、利用者の方も沿道で応援を行いました。
	地域行事への参加	地方祭、地域のイベント(あさぎり湖マラソン・参加応援)・ボランティアあさぎりのイベント参加し交流しました。
事業運営の向上	稼働率の安定化	年間を通して定員満床を維持しており、稼働率も高い数字で維持できました。
	設備に対するコストダウン	全職員が節電に対する意識を持ち、デマンド対策に取り組みました。
	リフレッシュ休暇の計画的取得	計画的に取得できるように調整し、職員のストレス軽減に取り組みました。

(5) 行事報告 (障害児入所施設野村学園・第二障害者支援施設野村学園)

月	行 事	研修 (O J T)	その他の
4月	遠足 内科検診 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修	保護者会総会 広報誌発行
5月	各種検査1回目 希望外出 あさぎり湖マラソン大会(参加・応援) 火災避難訓練及び消火訓練 愛媛県障害者スポーツ大会 南予福祉施設会ソフトボール大会(当番施設)	第1回国内研修会	大瀬中学校 交流会
6月	平成病院往診 希望外出 南予福祉施設会バーレーボール大会 ソフトボール大会(県予選) 火災避難訓練及び消火訓練	新任職員研修会 全国知的障害関係施設長等会議(神奈川) 第1回施設長会	広報誌発行
7月	夏祭り 夜市外出 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会(香川) 四国地区施設長会 第2回国内研修会(普通救命講習)	保護者会 役員会 (第1回)
8月	野村ダム花火見物 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	青年部夏季研修会 第1回職員研修会 第3回国内研修会	あさぎり スクール
9月	希望別旅行 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練	第2回職員研修会 第4回国内研修会	広報誌発行 保護者会 研修会
10月	野村学園50周年記念行事 希望別旅行、福祉祭り 地方祭外出 ゆうあいスポーツ四国大会 火災避難訓練及び消火訓練	第3回職員研修会	
11月	マンダリンバイレーツ交流会 各種検査2回目 乙亥外出、希望外出 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練	第2回施設長会 南予福祉施設会研修会 第5回国内研修会	保護者会 交流会
12月	クリスマス会 大掃除、希望外出 平成病院往診 火災避難訓練及び消火訓練	第6回国内研修会 南予企画委員会	広報誌発行 あさぎりクリスマス会
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練 昭和会・マンダリン交流 もちつき大会、希望外出	青年部冬季研修会 県施設長会 第7回国内研修会(事例報告会)	保護者会第 2回役員会
2月	希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会	広報誌発行
3月	遠足、希望外出 火災避難訓練及び消火訓練		保護者会第 3回役員会
毎月 行 事	※喫茶コーナー(月3~4回) ※職員会、各寮会 ※総務委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会(年3回) 広報委員会(随時) 苦情解決虐待防止委員会(随時)		

(6) 利用者状況等

1. 入所利用者数 (単位：人)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
26年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
27年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
28年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39

2. 利用者状況 (単位：人)

第二障害者支援 施設	平均年齢		障害支援区分			
	31.4		区分1	0	区分4	2
実人員	男	20	区分2	0	区分5	15
27	女	7	区分3	0	区分6	10
平均支援区分		5				

障害児入所施設	平均年齢	
	実人員	13.3

(単位：人)

年齢別（歳）	0~6	7~12	13~15	16~18	19	20~29	30~39	40~45
男性利用者	1	3	2	3	1	8	7	4
女性利用者	0	1	1	1	0	1	6	0

3. 職員配置 (単位：人)

職種	管理者	事務員	管理栄養士	看護師	サビ管	児童指導員	生活支援員	計	
								常勤	非常勤
職員数	1(兼)	1	1	1	1	19	3	17	5

4. 保育実習生受け入れ状況

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
27年度	0	0	2	0	0	2	2	2	0	2	0	0
28年度	0	0	2	0	0	0	4	4	2	2	0	0

8. 放課後児童健全育成事業所のむらキッズ・しろかわキッズ

(1) 行動指針

- ①利用者の尊厳を大切にします
- ②家族との絆を深めます
- ③職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤法令を遵守します

(2) 重点事項

- ①安心、安全で楽しく生きがいのある生活

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対して、事業所を利用し適切な遊びやその他の活動及び生活の場を与えて、安心安全で健全な育成を図る取り組みをしました。事業所に意見箱を設置し保護者からの意見を適切に解決できる様にしました。保護者が安心・安全に利用できる様、預かり時間の延長も実施しました。手作りおやつ、手作りランチ、おやつの買い出し等利用者と職員で行い食育への关心や生活力を高める取り組みを行いました。

- ②報告、連絡、相談の充実

保育依頼表を元に迎えの保護者の確認を行い安全に利用者を引き渡せる様にしました。月毎にキッズ利用予定表の提出や連絡帳を通して家族との報告、連絡、相談を行いました、迎え時にキッズ内での利用者の様子等を伝える様にしました。保育依頼表が提出されていない保護者に対しては電話連絡し確認を必ず行いました。

職員間の報告・連絡等は引継ぎノートを活用しましたが確認不足の時がありのむら・しろかわ合同での職員会で周知徹底の場としました。

- ③節約の取り組み

施設内の備品、物品は大切に使用するよう指導しました。教材（折り紙・画用紙・セロテープ等）を無駄使いしない様に児童にも指導し、空き箱、広告等の利用も行い工夫した遊びへの展開と繋げていきました。学年に応じた工夫、発想を持って子ども同士協力することを目的とし遊びの面白さへと繋げられました。

(3) 事業報告 1

- ①個別支援の向上

児童支援員としての知識や技術、質の向上を目指し研修に参加しました。子ども達が遊びの幅を広げられるように施設内（図書館・児童館）や運動場を利用しました。季節に応じた活動（川遊び・夏祭り）等も取り入れ活動できました。

- ②放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ運営開始

平成28年4月1日より放課後児童健全育成事業開始

(4) 事業報告 2

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
利用者支援	利用者の意向に沿った対応	児童の一人一人の思いを受容、傾聴、共感の姿勢を持って努めました。
	安全・衛生	安全・健康・衛生面を確保し安定した生活が送れるように配慮しました。
	学校との連絡調整	児童の様子等情報交換や学校行事に応じた施設開所時間設定を行いました。
	個々の人格尊重	学童の人格・人権に十分に配慮、尊重すると共に会議等で情報交換に努めました。
	満足度アンケート調査	施設に対する意見や要望を聞く事ができました。
	活動内容	行事を通してキッズ児童や学園利用者との交流、西予市内の学童保育児童との交流を行ないました。また、図書館・児童館等施設を活用したり戸外での遊びや行事、その他の活動を通して豊かな生活が送れました。
保護者・家族との連携	家族との連絡の徹底	ご家族が来所された時に児童の様子を伝えまた、家庭での様子等の情報交換に努める事ができました。
	満足度アンケート調査	施設に対する意見や要望を聞く事ができました。
	キッズでの生活の情報提供	キッズ便りや行事毎の写真掲載を行い活動の様子を発信しました。
職員の資質	児童・保護者との関わり	児童と関わるながら経験を豊にできる取り組みや子ども自身が主体的に過ごせる様援助しました。保育内容の充実のために、保育者からの願いや意見を反映し協力・連携して育成支援を行うと共に信頼関係の確立に努めました。
	指導員のスキルアップ	放課後児童支援員資格向上研修や児童指導員認定資格研修を受けました。障がい児について理解を深め、健常児とのより良い環境作りができる様に努めました。
地域連携	放課後児童健全育成事業の役割	保護者が労働等により昼間家庭にいない利用者に、授業の終了後に施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与え子どもの状況や発達段階を踏まえながら、健全な育成を図っていました。保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるように支援を行いました。
法令遵守	職場倫理を自覚して職務に当たる	子どもや保護者の人権に十分配慮するとともに、一人ひとりの人格を尊重する様に努めました。守秘義務・個人情報を適切に扱い、プライバシーを保護し事業の社会的責任や公共性を自覚できるように努めました。

(5) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所のむらキッズ)

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	誕生会、避難訓練		
5月	遠足 誕生会、避難訓練	学童フェスタ準備会	保護者会 総会
6月	誕生会、避難訓練	放課後児童指導員研修会	
7月	誕生会、避難訓練	学童フェスタ準備会	
8月	川遊び、学童フェスタ、誕生会、避難訓練 のむらキッズ夏祭り しろかわキッズ・学園児童招待交流会 保護者会活動	学童フェスタ参加	奉仕作業
9月	誕生会 避難訓練	学童フェスタ反省会	
10月	児童館こどもまつり 芋ほり体験、誕生会、避難訓練	放課後児童支援員資質向上 研修会	
11月	誕生会、避難訓練、乙亥祭り		
12月	クリスマス会 誕生会、避難訓練、大掃除	放課後児童支援員認定資格 研修会	
1月	誕生会、避難訓練	放課後児童支援員認定資格 研修会	
2月	誕生会、避難訓練	放課後児童支援員認定資格 研修会	新入児童保育募集説明会
3月	遠足 誕生会、避難訓練		保護者会 奉仕作業

(5) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ)

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	誕生会、避難訓練、ランチ作り		
5月	誕生会・避難訓練	学童フェスタ準備会	保護者会総会
6月	花いっぱい運動 誕生会、避難訓練	放課後児童指導員研修会	
7月	誕生会、避難訓練 プール(夏季休業中) 手作りおやつ、ランチ作り	学童フェスタ準備会	
8月	プール(夏季休業中) 誕生会、 川遊び、学童フェスタ のむらキッズ夏祭り しろかわキッズ・学園児童 そうめん流し、避難訓練	学童フェスタ参加	
9月	誕生会、避難訓練 老人ホーム(寿楽苑)訪問	学童フェスタ反省会	
10月	遠足、誕生会、避難訓練		
11月	誕生会、避難訓練		
12月	クリスマス会、誕生会、避難訓練 ランチ作り、大掃除		
1月	誕生会、避難訓練		
2月	誕生会、避難訓練		新入児童保育募集説明会
3月	遠足、手作りおやつ・ランチ作り 誕生会、避難訓練		保護者会

(6) 利用者状況等

のむらキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27年度	615	558	673	832	828	733	795	681	677	691	737	811
28年度	975	819	862	915	883	923	916	833	833	806	827	929

合計

8631

27年度

28年度 10521

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
27年	男児	10	10	4	2	2	0	28
	女児	6	8	8	3	3	0	28
	合計	16	18	12	5	5	0	56
28年	男児	11	8	5	2	0	2	28
	女児	8	6	6	6	4	2	32
	合計	19	14	11	8	4	4	60

3、職員配置

職種	管理者	事務員	児童指導
職員数	1 (0)	1	10

しろかわキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28年度	144	107	140	169	218	125	144	145	143	118	143	239

合計

1835

28年度

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
28年	男児	1	1	1	4	0	0	7
	女児	3	4	1	0	2	0	10
	合計	4	5	2	4	2	0	17

3、職員配置

職種	管理者	事務員	児童指導
職員数	1 (0)	1	10

XII 事業所別事業報告

【高齢者福祉部会】

多様化している高齢者福祉に対応できるよう取り組んだ評価として、1) 介護技術の普及・後継者の育成については、介護技術伝達講習会参加者による勉強会を各施設で実施しており、底上げができてきました。今後は、職員のレベルを確認する仕組み作りが必要だと思います。2) 専門職員（ケアマネ・栄養士・看護師）の業務内容の統一については、小部会を開催し、様式の統一や法人内の情報の共有ができてきました。3) 施設の整備については、各施設とも計画していた改修工事は順調に終えましたが、車輛については、経年劣化した車輛も多く整備が不十分な状況です。4) 介護教室については、出前講座や交流会・職場体験において、小、中、高生に介護教室を実施できました。今後は、地域のサロンなどで、介護予防教室などを開催する必要があると思います。5) 地域貢献事業については、地域ケア会議、西予市認知症対策検討会に参加し、地域のニーズの把握に努めましたが、地域貢献事業として活動できる体制作りが出来ていません。

福祉サービス第三者評価については、今年度二つの事業所が実施し、高齢者福祉施設の受審は完了しており、今後は、受審後の自己点検や改善していく仕組み作りを行い、施設間での評価や改善が出来る流れを作る必要があります。

また、昨年に引き続き実施した、「顧客満足度調査」については、その結果を各事業所単位で、利用者様のニーズや、地域のニーズを知ることができました。今後も高齢者福祉に貢献できるように、現状およびニーズの把握に努めていきたいと思います。

1. 特別養護老人ホーム法正園

(1) 行動指針

「あなたの笑顔が私の笑顔です」

①人権の尊重

わたしたちは、利用者ひとり一人の尊厳を大切にし、安心できる生活環境を創出します。

②人材育成

わたしたちは、常に知識とスキルの向上を目指し、感謝の気持ちと笑顔を絶やすことなく自らを成長させることのできる職場作りに努めます。

③地域への貢献

わたしたちは、社会事業を通して、地域の人々が安心して住み続けられる社会づくりに貢献します

(2) 重点事項

①帰属意識の醸成と組織力の強化

毎月の職員会において協会理念の一斉唱和を継続して行いました。このことについては第三者評価においても高く評価して頂きました。また、職員会において毎月施設長が講話をを行い、28年度の各重点項目について徹底した意識の統一を図りました。特に、働くことの意義、仕事の責任や価値観、チームワークの重要性、P D C Aサイクルによるサービスの改善、業務改革等については、職員に周知できたと思われますが、なかなか結果が出なかつたことがあります。そのことについては、職員が一丸となって悩んだことが成果だと捉えることができると思っています。

②安定的な事業経営

安定的な事業経営を行うために、経口維持加算の実施に向けた体制作りと準備を行いました。29年4月より経口維持加算を実施しています。また、入居者の介護度の適正化の取り組

みを行い、更新後に要介護度が変わり収入増に繋がりました。安定的な事業経営のために重要な職員の配置については、病気による長期療養のため欠員が出たり、家族の事情による途中退職があり、安定的な職員体制とはいきませんでした。

③人材育成と職員の連携強化への取組み

28年度は人員の異動も少なく、前年度の課題を改善するために職員が連携して取り組むことができました。また、職員の不足による影響で、職員の連携は強化された部分はありますか、余裕のない業務により取組み自体は進みませんでした。

人材育成についても、積極的に研修へ参加し個々の研鑽は進みましたが、職員間による人材育成については不十分な結果となりました。

④サービスの質の管理

サービスの質を高めるために、初めて第三者評価を受審しました。評価は概ね高評価をいただきましたが、不十分な面も認識することができ、受審してよかったです。また、お客様満足度調査と結果と併せて、評価を基にサービスの見直しや改善を行いました。これからも、現状に満足することなく、立ち止まらないようにサービスの向上を目指して取り組んでいきます。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	利用者様の意向にそったケアの実施	<ul style="list-style-type: none">定期的なカンファレンスを実施し、意向の確認をハッピーブランを盛り込みました。お客様満足度調査を実施しました。
	ご家族との交流	<ul style="list-style-type: none">お花見、納涼祭、大掃除など、ご家族と交流できるような行事を行いました。また、加算や制度説明会、ふれあい館のつどいの家族参加なども行いました。
	三大介護(食事)の充実	<ul style="list-style-type: none">毎月ユニット会と食事委員会、給食委員会で検討し、介護の充実に努めました。毎月ユニットごとの食事会、ユニットで食事を作るユニット炊飯、季節ごとの行事食、おやつ作り等を行い、美味しい楽しめる食事の提供に努めました。
	三大介護(入浴)の充実	<ul style="list-style-type: none">毎月ユニット会と委員会で、その人に合った入浴方法や入浴時間や入浴日、介護技術などを検討し、介護の充実に努めました。入浴委員を中心に、介護機器の管理や変更、メンテナンスを毎月行い、快適で安全な介護機器の使用に努めました。
	三大介護(排泄)の充実	<ul style="list-style-type: none">毎月ユニット会と委員会で、排泄のコントロールやパット類の見直しを毎月検討し、介護の充実に努めました。
	第三者評価の実施	<ul style="list-style-type: none">第三者評価を受審し、評価(三段階評価)の低いC評価はありませんでした。また、B評価の項目の改善に努めるよう取り組んでいます。第三者評価の結果を愛媛県のホームページで3年間公表し、サービスの透明性に努めています。
	サービスの標準化	<ul style="list-style-type: none">介護マイスターの取り組みで、介護技術の標準化を図ったりマニュアル類の見直しを行い、サービスの標準化を図りましたが、まだまだ不十分で今後も継続して行う必要があります。
	お客様満足度調査の実施	<ul style="list-style-type: none">入居者や家族に満足度調査を実施し、頂いた評価や意見について検討し改善を行いました。また、結果について法人のホームページで公開し、施設サービスの透明性に努めました。
	身体拘束廃止対策	<ul style="list-style-type: none">身体拘束廃止のために毎月の委員会で拘束の現状と解除の取り組みについて検討し、入居者の入れ替えもありましたが対象者が4月6名から3月2名となりました。

	虐待防止対策	・虐待防止のために国内研修を行い、毎月の委員会で検討しましたが、虐待行為はありませんでした。
	感染症の予防	・感染症予防に努めましたが、2月に国内でインフルエンザが流行してしまいました。
施設設備の充実	なごみホール改修	・旧デイサービスのキッチンやカウンター、床や壁の改修工事をおこない、行事や入居者様と職員の親睦会、法正園グループの合同職員会や内部研修等で活用することができました。
	屋外フェンス改修	・正面玄関前のフェンスが傾いていたため改修工事を行い、安全面と景観を改善することができました。
	倉庫の改修	・旧ボイラー室に床を張り、ダンボール箱のおむつ置き場が拡充し、管理環境を改善することができました。
地域との連携	避難訓練への参加	・夜間災害避難訓練時に、災害協定を結んでいる2地区の住民にも訓練に参加していただきました。
	子どもたちとの交流会	・保育所、幼稚園、中学校・高等学校の、幼児、児童生徒さんたちが来園して頂き、交流会を行うことができました。
	行事による交流	・地方祭や地域のイベントに参加し、地域の方と交流したり、夕涼み会に近隣地域の方に来ていただきました。また、各行事に演芸等を披露していただき交流することができました。
	ボランティアの受け入れ	・定期的に来られる地域ボランティアグループや、小・中・高校生等の受入れをおこないました。
	情報公開	・年3回広報誌を発行し、内1回は近隣地域に配布しました。また、ホームページでも施設の様子を随時発信しました。
職員の質の向上	口腔ケアの取り組み	・H29年度から経口維持加算を取るべく、外部講師を招いての研修や、外部の口腔ケア研修にも積極的に参加し、協力歯科医との連携体制も整えました。
	介護マイスターの取り組み	・園内介護マイスター(介護技術講習)を、法人介護技術伝達講習会参加者の指導で月2回(対象者がどちらかに参加)行いました。
	人権尊重やコンプライアンス意識を高める指導の強化	・園内研修において、菅原施設長を招いてユニットケアや個別ケアの修会を行ったり、虐待防止や苦情、個人情報とプライバシーについて研修を行いました。
	内部研修会の実施	・毎月、計画的に研修会を行うことができました。 口腔ケアやユニットケア、感染症、褥瘡について外部から講師を招いて研修を行いました。
	エルダー制(新人育成)の活用	・エルダー制を活用し新任職員の育成を行いました。
経営基盤の強化	稼働率の向上	・入院される方や退所される方が多かったが、病院との連携やスムーズに入所していただくことで、昨年度より稼働率が少し向上しました。(96.2%)
	事業コストの削減	・コピー機のカウント料金の見直しにより、コストダウンが図れました。 ・排泄委員会においてバット類の見直しを行い、コストダウンを行いました。 ・電気代について、全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。
働きやすい職場環境づくり	業務改革の推進	・業務改革委員会において業務の見直しを行い、3月より朝礼を廃止し、「ほのぼのシステム」を活用した業務予定や連絡確認にしました。 ・ユニット間の連携勤務ができ休暇取得がスムーズになるよう休制作りを行いました。※H29年度実施を目指
	リフレッシュ休暇の計画的取得	・計画的に取得できるよう努めました。
	ストレスチェックの導入	・第三者機関による職員ストレスチェックを行いました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月		新任職員研修 H27年度の実績等報告 虐待と苦情研修	西予老施協総会 南予老施協総会 県老施協総会
5月	お花見会 健康診断 西予老施協合同遠足	ユニットケア研修 看取り研修 口腔ケア施設視察	家族会役員会・総会 県老人福祉施設大会 広報誌発行第234号
6月	保育所交流会	H27年度経営報告 H28年度経営目標発表 食中毒予防対策研修	市内三社会福祉法人連絡会
7月	そうめん流し	法人虐待研修 介護技術・器具研修	
8月	夕涼み会	救急救命講習	第三者評価訪問調査 夏休みボランティアチャレンジ受入
9月	西予市老施協演芸大会 秋の法要	法人虐待研修 口腔ケア研修	広報誌発行第235号
10月	地方祭外出 野村高校就業体験 風水害・土砂災害夜間避難訓練※地区住民参加	身体拘束廢止研修 事故再発防止研修	県指導監査 お客様満足度調査 西予市老施協職員交流会
11月	乙亥外出 健康診断 野村中学生交流	褥瘡対策研修 認知症研修 H28年度上半期経営状況報告	南予介護の日イベント チャリティレクバレー大会参加
12月	クリスマス会 家族会大掃除 なごみホール完成イベント	感染症対策研修	シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練
1月	お年とり 初詣外出	ユニットケア研修 ※菅原施設長講演会	広報誌発行第236号 野村町駅伝大会参加
2月	節分豆まき	※インフルエンザ流行により 中止	
3月	ひな祭り 春の法要 入居者・職員送別会	運営状況報告 H28年度4月～2月 個人情報とプライバシー 研修	西予老施協施設長相談員会 南予老施協第2回総会 県老施協第2回総会 家族会説明会
毎月	各ユニット食事会(誕生会)、にこにこマート、職員会、運営委員会、リーダー会、各エッカ会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、OJT委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、ナセイ人、業務改革)、高齢者部会等各法人委員会 介護マイスター、介護技術伝達講習会		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、入所検討委員会(4、7、10、1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(水・金)、ユニット炊飯(毎週木曜日)		
随時	避難訓練、地域行事外出、交流会、里帰り、内部研修会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練(平日)		

(5) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,488	99.2%	94.5%
5	1,550	1,485	95.8%	94.5%
6	1,500	1,480	98.7%	95.3%
7	1,550	1,485	95.8%	97.4%
8	1,550	1,478	95.4%	98.1%
9	1,500	1,419	94.6%	95.7%
10	1,550	1,452	93.7%	92.8%
11	1,500	1,450	96.7%	94.3%
12	1,550	1,487	95.9%	91.2%
1	1,550	1,484	95.7%	92.2%
2	1,400	1,355	96.8%	95.0%
3	1,550	1,499	96.7%	99.9%
合計	18,250	17,562	96.2%	95.1%

利用者要介護度別

(H29年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	1	6	13	30

平均介護度 4.4

男性 11名 女性 39名

平均年齢 87歳

2. 短期入所生活介護事業所法正園

(1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者やご家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

(2) 重点事項

①帰属意識の醸成と組織力の強化

毎月の職員会において協会理念の一斉唱和を継続して行いました。このことについては第三者評価においても高く評価して頂きました。また、職員会において毎月施設長が講話をを行い、28年度の各重点項目について徹底した意識の統一を図りました。特に、働くことの意義、仕事の責任や価値観、チームワークの重要性、P D C Aサイクルによるサービスの改善、業務改革等については、職員に周知できたと思われますが、なかなか結果が出なかったことがあります。そのことについては、職員が一丸となって悩んだことが成果だと捉えることができると思っています。

②顧客満足度の向上

利用者と家族にお客様満足度調査を実施し、サービスの見直しや改善を行いました。

入所前日には送迎の時間や状態の確認を電話連絡し、利用中の状況については、連絡票を使って報告を行い、ご家族との信頼構築を図っています。

③安定的な事業経営

居宅介護支援事業所と連携し、利用の調整を行いました。感染症の流行で受け入れできない期間があり、稼働率は前年度より下回りました。

④接遇マナーの向上

基本的マナーである立振舞や言葉使い、挨拶の仕方について各職員が気をつけて対応しました。お客様満足度調査では、利用者家族より挨拶や対応について高評価をいただき職員の意識高揚に繋がりました。

⑤サービスの質の管理

サービスの質を高めるために、初めて第三者評価を受審しました。評価は概ね高評価をいただきましたが、不十分な面も認識することができ、受審してよかったです。また、お客様満足度調査と結果と併せて、評価を基にサービスの見直しや改善を行いました。これからも、現状に満足することなく、立ち止まらないようにサービスの向上を目指して取り組んでいきます。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	アセスメントとケアプランの充実	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なカンファレンスを実施し家族に説明しています。 月1回のユニット会の時に、職員に対してサービス内容の確認と周知を行っています。 利用者と家族にお客様満足度調査を実施しました。
	個別短期入所計画に基づく個別処遇実施	<ul style="list-style-type: none"> 短期入所を受入しているユニットのユニット会の時に、変更がある場合は随時アセスメントを更新し、申し送りを行い周知徹底しています。
サービスの質の確保	居宅介護支援事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 社協が運営しているソフト「キントーン」を活用し情報を共有し、発信している。 月1回の介護保険連絡会等に参加し情報交換を行っている。 利用者の担当者会議において、情報の共有とサービスの改善を行っています。
	利用期間中の情報一元管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援ソフト「ほのぼの」を活用し、利用受入から退所まで多職種で情報を共有し、必要に応じて家族や担当ケアマネに連絡する体制を整えています。
	第三者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価を受審し、評価(三段階評価)の低いC評価はありませんでした。また、B評価の項目の改善に努めるよう取り組んでいます。 第三者評価の結果を愛媛県のホームページで3年間公表し、サービスの透明性に努めています。
	サービスの標準化	<ul style="list-style-type: none"> 介護マイスターの取り組みで、介護技術の標準化を図ったりマニュアル類の見直しを行い、サービスの標準化を図りましたが、まだまだ不十分で今後も継続して行う必要があります。
	お客様満足度調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族に満足度調査を実施し、頂いた評価や意見について検討し改善を行いました。また、結果について法人のホームページで公開し、施設サービスの透明性に努めました。
	情報公開	<ul style="list-style-type: none"> 年3回広報誌を発行し、内1回は近隣地域に配布しました。また、ホームページでも施設の様子を随時発信しました。
職員の質の向上	介護マイスターの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 園内介護マイスター(介護技術講習)を、法人介護技術伝達講習会参加者の指導で月1回(対象者がどちらかに参加)行いました。
	人権尊重やコンプライアンス意識を高める指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修において、菅原施設長を招いてユニットケアや個別ケアの修会を行ったり、虐待防止や苦情、個人情報とプライバシーについて研修を行いました。
	内部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、計画的に研修会を行うことができました。 口腔ケアやユニットケア、感染症、褥瘡について外部から講師を招いて研修を行いました。
経営基盤の強化	稼働率の向上 空床を発生させないための利用日調整	<ul style="list-style-type: none"> 各ケアマネと連携し、早期に利用予定日を調整し、利用期間が調整できる利用者には、ケアマネを通じて調整を依頼しています。空床については、キントーンを活用して情報を発信しましたが、感染症の流行で受け入れできない期間があり、稼働率は前年度より下回りました。
	新規利用者の確保	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険連絡会で、状況を説明し新規利用者の獲得に努めたが、利用負担が他施設と比べて高いため、なかなか利用には繋がらなかった。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月		新任職員研修 H27年度の実績等報告 虐待と苦情研修	西予老施協総会 南予老施協総会 県老施協総会
5月		ユニットケア研修 看取り研修 口腔ケア施設視察	家族会役員会・総会 県老人福祉施設大会 広報誌発行第234号
6月	保育所交流会	H27年度経営報告 H28年度経営目標発表 食中毒予防対策研修	市内三社会福祉法人連絡会
7月	そうめん流し	法人虐待研修 介護技術・器具研修	
8月	夕涼み会	救命急救講習	第三者評価訪問調査 夏休みボランティア受入
9月	秋の法要	法人虐待研修 口腔ケア研修	広報誌発行第235号
10月	野村高校就業体験 風水害・土砂災害夜間避難訓練※地区住民参加	身体拘束廃止研修 事故再発防止研修	県指導監査 お客様満足度調査 西予市老施協職員交流会
11月	野村中学生交流 健康診断	褥瘡対策研修 認知症研修 H28年度上半期経営状況報告	南予介護の日イベント チャリティレクバレー大会参加
12月	クリスマス会	感染症対策研修	シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練
1月	お年とり	ユニットケア研修 ※菅原施設長講演会	広報誌発行第236号 野村町駅伝大会参加
2月	節分豆まき	※インフルエンザ流行により 中止	
3月	ひな祭り 春の法要	運営状況報告 H28年度4月～2月 個人情報とプライバシー研修	西予老施協施設長相談員会 南予老施協第2回総会 県老施協第2回総会 家族会説明会
毎月	各ユニット食事会(誕生会)、にこにこマート、職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、O J T委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、ナース、業務改革)、高齢者部会等各法人委員会 介護マイスター、介護技術伝達講習会		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、入所検討委員会(4、7、10、1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、エコ炊飯(毎週木曜日)		
随時	避難訓練、交流会、内部研修会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練(平日)		

(5) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	98	81.7%	92.5%
5	124	108	87.1%	88.7%
6	120	94	78.3%	81.7%
7	124	110	88.7%	102.4%
8	124	89	71.8%	137.9%
9	120	93	77.5%	109.2%
10	124	143	115.3%	113.7%
11	120	129	107.5%	113.3%
12	124	110	88.7%	125.8%
1	124	132	106.5%	121.0%
2	116	111	95.7%	99.1%
3	124	94	75.8%	88.7%
合計	1,464	1,311	89.5%	106.2%

利用定員 4名 特養空床利用
 平均介護度 3.2

3. デイサービスセンターふれあい事業報告

(1) 行動指針

利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努め、用者との信頼関係を基礎とした人間関係の確立を図り、利用者の主体性の尊重とその家族との交流を目指します。

(2) 重点事項

①認知症ケアの充実

- 認知症実践研修修了者が常勤し、認知症利用者のケアが充実した。
- 外部認知症研修会の参加。
- レクリエーション、機能訓練の充実等による認知症予防。
- 他施設への認知症ケア研修

②関係機関との連携

- 他事業所の連絡、連携にて地域、家族のニーズの把握。
- 担当ケアマネ、家族との連絡、連携を取り、利用者の状態把握。

③機能訓練の充実

- 理学療法士、看護師を中心に各利用者に合ったケアプランを作成し、個別機能訓練・運動器機能向上を実施。
- 理学療法士を専門的研修に参加させ、スキルアップを図った。

④職員の資質向上

- 外部研修、内部研修の参加。
- 介護技術伝達研修の参加、各職種ごとの研修参加。

⑤経営改善・基盤の確立

- 各事業所と連携を取り、ニーズを把握し、機能訓練等、当事業所の特色を生かし、ニーズに合ったサービスを提供した。
- 稼働率（1日20名以上）を掲げ、利用者様の確保、収益の安定、向上を目指した。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み（詳細）	取組報告
ニーズに対応したサービス提供と向上	ご家族、利用者様の意向に沿ったサービスの提供	・顧客満足度調査を実施し、意向の確認を行いました。
	美味しい楽しめる食事の提供	・嗜好品を確認し、満足される食事の提供を行いました。 ・卓上にて、ご飯をよそおい視覚・嗅覚で楽しんで頂きました。炭火にて焼き鯖、焼き肉作り、卓上にて焼きそば、焼き鳥作り、その他干し柿作り等)
	感染症の予防	・毎日のデイ内消毒により、インフルエンザ感染者来所されたが、他利用者への感染は予防できました。
	季節に応じた外出	・花見、野村ダムこいのぼり見学、紅葉狩り、初詣に行き、季節感を感じて頂きました。
	機能訓練の充実	・在宅生活が安定するよう、希望者に機能訓練を実施しました。また実施報告も行いました。（協会継続研修会にて成果発表）
	認知症ケアの充実	・認知症ケアを充実する為に、他施設研修・各研修に参加しスキルアップを図りました。

職員の資質向上と人材育成	内部研修会の実施	・毎月、研修会を行う事ができました。
	介護力向上研修会	・毎月、職員1名が介護技術伝達講習会に参加しました。デイ内での技術伝達は、あまりできませんでした。
	認知症ケア研修	・県、南予老施協主催の認知症ケア研修会に参加しました。 ・認知症ケアを実践している施設への研修に行きました。
	エルダー（新人育成）	・エルダー制を導入しました。
地域交流	保育園・幼稚園との交流	・デイでの交流会をイベントし来て頂きました。（保育園2回、幼稚園1回）
	秋祭り、乙亥祭り参加	・秋祭りにて、牛鬼、五つ鹿踊りに来て頂きました。 ・乙亥祭りにて、力士2名（稀勢の里関、玉鷲関）が来所して頂き、写真撮影を行いました。
	1日体験会の実施	・ケアマネと連携し、地域の方を対象に体験会を実施しました。（体験者約10名を予定していましたが、4名でした）
	ふれあい館イベント参加	・ふれあい館のつどいにて、デイを開放し地域の方に来園して頂きました。また、介護相談も受けています。
	野村高校職業体験の受け入れ	・野村高校生4名の職業体験を受け入れました。
	広報誌の発行	・年3回の広報誌（デイ便り）を発行し、ご家族へ、デイで過ごされている様子等の紹介が出来ました。
経営改善・基盤の確立	稼働率の向上	・稼働率80%以上を目指していましたが、達成できませんでした。（稼働率69.3%）
	サービスの充実	・午前、午後の希望期間帯に入浴して頂く事で、ゆったりとして入浴時間を見提供できました。 ・全利用者に連絡帳を作りました。ご家族との連携が充実しました。

(4) 実施事業

月	行 事	研修 (O J T)	その 他
4月	お花見外出	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 介護技術研修	西予老施協総会 南予老施協総会
5月	こいのぼり見学	介護技術研修	県老施協総会、健康診断 デイ広報誌発行
6月		介護技術研修 感染症対策研修（食中毒）	
7月	七夕行事	介護技術研修	火災避難訓練及び 消防訓練
8月	ソーメン流し	介護技術研修 救急救命講習	福祉サービス第三者評価 野村高校職業体験
9月		介護技術研修	奉仕活動 デイ広報誌発行
10月	秋祭り (牛鬼、五つ鹿踊り)	介護技術研修	
11月	紅葉狩り外出 乙亥祭り (力士2名来所) 保育所交流 1日体験会	介護技術研修 感染症対策（ノロ・インフル） 継続研修発表会（機能訓練）	
12月	クリスマス会 干し柿作り	介護技術研修 事故発生防止研修	
1月	鍋料理 初詣外出 幼稚園交流 保育所交流	介護技術研修	
2月	節分行事	介護技術研修	
3月	ひな祭り	介護技術研修 理学療法士会研修	デイ広報誌発行
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議（カンファレンス）・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	725	513	70.8%	66.6%
5	754	563	74.7%	67.6%
6	725	538	74.2%	72.3%
7	754	534	70.8%	62.3%
8	754	534	70.8%	66.7%
9	754	519	68.8%	73.6%
10	754	536	71.1%	78.9%
11	754	527	69.9%	72.8%
12	754	489	64.9%	68.8%
1	754	464	61.5%	64.1%
2	696	457	65.7%	68.7%
3	754	513	68.0%	72.9%
合計	8,932	6,187	69.3%	69.6%

利用定員 29名

1日平均利用 20.08人

営業日 日曜日から金曜日の週6日(元日は除く)

介護度状況(平成29年3月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
18	13	13	10	8	13	8

平均介護度 2.1

男性 21名 女性 62名

平均年齢 88歳

4. 居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

(1) 行動指針

- ①利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を充分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場にたって支援します。
- ③行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

(2) 重点事項

①ケアマネジメントの実践

新規担当として、介護41名、介護予防（支援、総合事業対象者）6名の計47名の方を受け入れました。また、居宅介護担当以外でも介護相談等行っています。

地域包括ケアシステムの構築の一つとして重要である多職種連携では、顔の見える関係、また情報共有を図る事を目的として積極的に下記活動等に参加しています。

介護保険事業所連絡会、西予市介護支援専門員会、主任介護支援専門員会

地域リーダー活動、kintoneユーザー（情報ツール）、kintone運営委員

市立病院等医療カンファレンス

②適正な業務遂行

法令を遵守し、適正な介護給付等が実施出来るよう、業務マニュアルの確認、特定事業所加算遵守記録の作成、業務自己点検、特定事業所集中減算様式の作成を適宜実施しています。

③介護支援専門員の専門性向上と質の確保

支援困難ケースや医療依存度が高い方など様々なケースに対応出来るよう、積極的に研修に参加し、専門性や質の確保に努めています。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
法令遵守と適切なケアプランの作成	業務マニュアルの確認	・業務マニュアルを作成し、マニュアルに添った支援を実施しました。
	遵守記録の作成・確認	・特定事業所加算遵守記録を毎月作成し遵守出来ているか確認しました。
	業務自己点検	・自己点検表(居宅介護支援)にて、業務点検を実施しました。
	特定事業所集中減算様式の作成	・年2回、様式を作成し事業所保管、地方局に送付しています。
	ケアプランの提出	・新規プラン作成時は市に提出(チェック)しています。市のチェック後、チェック内容の確認等実施しています。
医療との連絡・連携	市立野村病院等との連携	・病院主催で毎週木曜日行われる、病院、施設、居宅ケアマネ等参加の訪問(医療)カンファレンスに参加し情報共有・連携を図っています。個別の退院カンファレンスへの出席依頼があれば出席しています。またケアマネ側からも、カンファレンスを企画し病院スタッフに参加を依頼する事もあります。
	その他の病院カンファレンスへの出席や連携	・個別の退院カンファレンス等に参加し情報共有・連携を図っています。
	病院等主催の医療勉強会への参加	・病院主催の、褥瘡研修、嚙下研修、糖尿病研修会に参加しました。
地域包括ケアシステムの役割の理解と新総合事業制度への対応	西予市クラウドシステム「kintone」の活用	・地域包括ケアシステム構築のツールの一つとして、介護・医療・福祉・保健・予防の連携を図っています。ユーザーとして参加しています。
	西予市クラウドシステム「kintone」運営委員の受託	・導入促進及び活用推進を図る事により多職種連携の推進と地域包括ケアシステムの構築に資する事を目的とし、適正かつ効果的な運用が行えるよう、運営委員として参加しています。
	地域リーダー養成研修への参加	・地域包括ケアシステム構築のために必要な主任介護支援専門員としての役割を学んだり、活動する為、年間を通して養成研修に参加しています。
	総合事業の受託	・包括支援センターより、総合事業対象者の委託を受けプランを作成しています。また、それに伴う勉強会等へ参加しています。
介護支援専門員の質の向上	内部研修会の実施	・事業所内で適宜、認知症、プライバシー、法令遵守等の研修を実施しています。法正園、法人内研修にも参加しています。
	外部研修会への参加	・県社協研修、県や市・包括主催の研修等、介護・医療・福祉・保健・予防等の研修に計画的、積極的に参加しています。
困難事例の対応	困難事例の受け入れ	・包括支援センター等からの困難事例等の依頼を積極的に受け入れています。
	勉強会、研修会等への参加	・様々なケースに対応出来るよう、事業所内での勉強会の開催。また、外部の研修会等に参加しています。
職務内容		・下記、職務内容を実施しました。

職務内容

ア ケアプラン、記録等書類の作成
イ 介護サービス事業者との連絡調整
ウ 主治医や医療との面談、医療情報の収集や生活状況の情報提供
エ アセスメント（課題分析）、モニタリング（評価）の実施
オ サービス担当者会の開催
カ 利用者宅、サービス事業所訪問
キ 介護相談
ク 他、居宅介護支援業務に関わる事

(4) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	18	50	68	984,090	6	15	21	90,300
5	19	49	68	1,002,310	5	16	21	93,300
6	19	53	72	1,062,320	5	16	21	96,300
7	21	51	72	1,049,880	6	14	20	86,000
8	22	51	73	1,063,300	5	13	18	77,400
9	23	54	77	1,123,090	6	12	18	80,400
10	24	57	81	1,182,990	6	12	18	77,400
11	25	55	80	1,166,570	6	13	19	84,700
12	25	55	80	1,160,240	6	13	19	81,700
1	24	52	76	1,112,780	6	12	18	77,400
2	25	57	82	1,115,890	4	13	17	73,100
3	25	56	81	1,199,410	6	13	19	84,700
総計	270	640	910	13,222,870	67	162	229	1,002,700

居宅介護支援利用者介護度別 (H29年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
10	9	29	26	18	5	4

*要支援1は、総合事業事業対象者も含む。

毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換（毎月2日）
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握（最低月1回）
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

職員研修

プライバシー保護に関する研修	個人情報の重要性の再認識
倫理、法令遵守、権利擁護研修	知識を深める
介護支援専門員特別研修	専門知識の習得や質の向上を図る
認知症、認知症ケアに関する研修	認知症への理解を深め、実践に活かす
地域包括支援センター主催の研修	ケアマネジメントの質の向上を図る
県や市町、医療機関主催の研修	高齢者支援全般に関する学ぶ
地域リーダー養成研修	地域包括ケアシステム構築のため、主任介護支援専門員の資質向上を図る

5. 惣川高齢者生活福祉センター事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

①働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

②社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え方をもって行動します

(2) 重点事項

①リハビリ、機能訓練による自立生活の維持

○個々に応じた機能訓練による身体機能の維持。

○機能訓練研修会参加による職員のスキルアップ。

②啓発活動による利用者の増加

○地域行事への参加。

○惣川民生委員会議に参加しデイサービスの周知を図った。

③地域密着型通所介護事業所への移行

○5月10月の運営推進会議の実施。

○家族の要望、利用者のニーズを汲み取ったデイサービス事業の推進。

○地域の特性に応じたデイサービス事業。

④施設整備

○浴室改修工事を行い入浴しやすい環境を整えた。

⑤重度化傾向になる入居者への対応

○訪問介護との協力体制（一部介助での自立生活の維持）

○家族、ケアマネージャーとの報告、連絡、相談。

○生活し易い住環境作り（福祉用具貸与サービスの相談援助）

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	利用者様の意向にそったケアの実施	・ケアプランに沿ったサービスを実施しました。 ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	ご家族との連絡の徹底	・送迎や来所の際にはデイサービスでの様子を伝えました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・席の配置に配慮して雰囲気作りを行いました。 ・おやつ作りをして一緒に楽しみました。
	利用者様の安全確保と事故防止	・研修会に参加してスキルアップをしました。 ・環境整備を心掛け危険予知しました。
	感染症の予防	・研修会に参加してスキルアップをしました。 ・集団感染ゼロを実施することができました。
施設設備の充実	浴室の改修	・3人浴槽と個浴槽の設置。ボイラーモード湯沸かし器からガス湯沸かし器への改修。
	娯楽室の環境整備	・畳み表替えと敷きマットの交換。
	安心して、楽しく暮らせる環境作り	・レクリエーション用品の購入によるレクリエーションの充実と危険箇所の改善による安全を図りました。
地域との連携	幼稚園、小学校との交流会	・年3回の交流会を行いました。
	地域行事への参加	・地方祭に参加し、地域の方と交流することができました。
	ボランティアの受け入れ	・地域ボランティアの方や小・中学校等の受入れをおこないました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・法正園の研修会に参加して行うことができました。
	他施設への実務体験	・実施できませんでした。
	介護力向上研修会	・介護技術研修会に参加して職員に伝達しました。
	認知症ケア研修会	・認知症研修会に参加して認知症ケアの知識を習得し職員に伝達しました。
	エルダー(新人育成)の導入	・新人職員該当なしでした。
経営基盤の強化	稼働率の向上	・リハビリや機能訓練による自立生活の維持を図りました。 ・地域の情報収集やケアマネとの連絡を密にして集客増を図りました。
	設備に対してのコストダウン	・全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。
	地域への啓発活動	・懇親会に参加してデイサービスの周知を行った。 ・地区の花見へ職員参加しました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・各自が事前に申し出ることで、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	・業務のスリム化をして仕事の分担を行いました。
	職員間の懇親会	・定期的に懇親会を行いました。
	労働災害の防止	・通勤時の危険予知の徹底を行いました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	花見遠足（介護予防 支援通所事業者） 誕生会	新年度事業計画と施設 方針 虐待特上について	舟戸分館花見 法正園合同職員会
5月	花見遠足（介護予防 支援通所事業者） 誕生会		
6月	惣川幼稚園小学校 交流会・誕生会	H27経営分析・H28目標 発表 食中毒対策研修	法正園合同職員会
7月	七夕飾り 誕生会		
8月	誕生会	口腔ケア研修	法正園合同職員会
9月	避難訓練 誕生会	救急救命講習	協会奉仕作業
10月	認定者遠足	事故発生防止研修 身体拘束廃止研修	法正園合同職員会
11月	秋の遠足（介護予防 支援通所事業者） 小学校交流会	事故再発防止研修 褥瘡対策研修	
12月	クリスマス会 誕生会 非常災害避難訓練	感染症対策研修	法正園合同職員会
1月	初詣 誕生会		
2月	節分、豆まき		法正園合同職員会
3月	避難訓練・誕生会 惣川大正琴の会（演奏会）		
毎月	誕生会、惣川職員会		
毎日	棒体操、リハビリ体操、口腔体操		

(5) 利用者利用状況等

①介護予防支援通所事業

月	開所日数	利用実人員	利用延人員	利用1日平均
4	8	36	108	13.5
5	9	36	122	13.6
6	9	38	129	14.3
7	8	35	121	15.1
8	10	36	139	13.9
9	7	33	102	14.6
10	8	33	116	14.5
11	10	36	128	12.8
12	8	37	101	12.6
1	8	27	79	9.9
2	8	25	69	8.6
3	4	5	5	1.3
合計	97	377	1219	12.1

1日平均利用

12.1人

営業日

火曜日、水曜日の週2日

②通所介護事業

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	306	203	66.3%	42.9%
5	306	203	66.3%	42.1%
6	396	223	56.3%	45.9%
7	378	210	55.6%	45.4%
8	396	201	50.8%	38.8%
9	378	237	62.7%	36.5%
10	378	214	56.6%	40.4%
11	360	230	63.9%	39.8%
12	360	195	54.2%	38.8%
1	342	171	50.0%	34.8%
2	342	179	52.3%	44.5%
3	414	323	78.0%	39.3%
合計	4,356	2,589	59.4%	40.8%

利用定員 18名

1日平均利用 10.7人

営業日 月、火、水、木、金曜日の週5日

介護度状況(平成29年 4月末現在)

総合事業含む

介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	要支援 1	要支援 2
6	5	1	1	0	58	10

平均介護度 1.8

6. 特別養護老人ホーム しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 重点事項

①サービス向上と環境改善の取り組み

・職員一人一人が食事介助、入浴介助、排泄介助（3大介護）のスキルアップに努め利用者様に合ったケアサービスに繋げました。また、入所前の生活歴などを把握して利用者様一人一人のニーズに応えるべく四つのサークル活動（グルメ・農園・ビューティー・介護塾）を行いました。

・経年劣化に伴う全体の空調工事が終了し、快適な生活環境を提供しました。

②安定的な事業経営

・事業収入の安定的確保のため稼働率（95%以上を目標）の向上に努め安定的な収入に努力しました。

・経費節減に全職員で取り組みました。無駄の排除、光热水費の削減等に努めました。特に電気料は「見える化・聞こえる化」を図ったことにより職員一人一人の意識改革に繋がり大幅な削減ができました。

③人材育成と組織力強化への取り組み

・新規採用者及び登用者の職員新人研修をはじめ、施設内研修会や階層別・法人研修会・老施協主催研修会等に、積極的に参加させスキルアップを図りました。

・エルダー制度の充実により新人育成の強化と先輩職員の成長に繋がりました。また介護福祉士等の資格取得の推進に取り組みました。

・報告、連絡、相談（ホウレンソウ）の励行に努めました。

・施設内において、趣味を活かしたサークル活動や職員交流等（互助会）を通して、施設の一員としてのチーム力強化に努めました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	利用者様のニーズに応じたケア	<ul style="list-style-type: none"> 『しいのきけんけんプロジェクト』を立ち上げ、生活歴や職歴から個々に沿ったニーズに今以上に応えケアプラン(ハッピープラン)に盛り込みました。 顧客満足度調査を実施し、利用者様や家族様の意向の確認を行いサービスの質の向上を図りました。
	家族様との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> 月一回の家族様への近況報告や状態変化時のこまめな連絡、面会時の伝達等と年4回の広報誌等やHPによる情報を提供し、家族様との連携強化に努めました。 家族会総会(バイキング食)や夕涼み会等で家族様との交流を行いました。
	安全で楽しく美味しい食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士を中心に栄養マネジメントを適切に実施し、食事委員会等で利用者様の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供に努めました。 グルメサークルを中心に各ユニットにて利用者様と一緒に食事やおやつ作りを行ったり、利用者様の希望で外食に出かけ楽しく美味しい食事を提供しました。 誕生日には、職員のコメントをいただき、お花・ケーキ・誕生カードの提供を行いました。 季節や行事に由来した行事食、旬の食材を取り入れて季節を感じられる食事を提供しました。
	身体拘束廃止	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束廃止委員会で検証を行い、拘束の早期解除に努めました。
	安心・安全な生活の提供	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットや事故報告書等をユニット、委員会等で検証し、大きな事故に繋がらないよう事故防止に努めました。
	健康管理・機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> 看護師、ケアマネ、相談員、介護職が連携し、日常の健康状態を把握し、状態変化の早期発見・治療に努めました。 利用者様が生活意欲を持って日々の生活を過ごせるよう、日常生活を通じて機能維持を図る動作訓練を実施しました。
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがいの励行を周知徹底し、季節を問わず感染症予防に努めました。
施設設備の充実	安心・安全で快適に暮らせる環境作り	<ul style="list-style-type: none"> 6月末に第二期空調工事が終了し、快適な環境を提供しています。 毎月、福祉機器の点検を行い、修繕箇所や危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 利用者様一人一人に合った福祉器具が不十分で、今後の課題であります。
地域との連携	地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> 保育所、小中高の学生の訪問を積極的に受け入れ、地域ボランティアの方と交流を行いました。 近隣地域(椎の木、山本、上野)との合同夜間避難訓練を実施しました。
	地域への参加	<ul style="list-style-type: none"> 乙亥まつり、地方祭等の地域行事に積極的に参加しました。 法人でボランティア清掃作業や町内盆踊りに参加しました。
	広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌「しいのき」を年4回発行し、地域・関係機関に情報を提供しました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 必須研修および職員一人一人のスキルアップを目指した研修会を計画通り実施しました。
	外部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識や技術を習得するため、外部研修会に積極的に参加しました。
	エルダー制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> 後輩はもちろんのこと先輩職員も共に成長できたと思いますが、エルダー同士の指導の温度差が課題にあがります。

	適正収入を確保し 安定経営	稼働率95%以上を目標に取り組み、96.9%の稼働率でした。
経営基盤の強化	コスト削減の意識の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・水道光熱費は、デマンドの仕組みが理解できつつあり、電気料に対しての意識に変化が見られ大幅な削減に繋がりました。 ・介護用品（パッド等）の勉強会を開催しパッドの使い分けと適切な交換回数を研究してコスト削減に努めました。しかし、コスト意識の共有ができませんでした。 ・日用品は他社メーカーから頂いた価格表を検証しコスト削減に努めました。
	リフレッシュ休暇の計画的取得	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ休暇取得が年度末に多くなり計画的な取得ができませんでした。
働きやすい職場環境づくり	労働災害の防止・健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員対象にストレスチェックを実施しました。結果報告書は各人に渡されました。 ・1月に職員への聞き取りを行い、少しでも良い職場環境で働きやすく安全・安心して勤務できるよう改善点を整えたり、職場での人間関係が「こころの病」にならないよう努めました。 ・全職員対象に定期健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の健診を実施しました。
	職員間の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・互助会等で、定期的な交流行事を行い職員同士の親睦を図りました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その 他
4月	お花見 お楽しみ外出	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 医療行為の関する研修	西予老施協総会 南予老施協第1回総会 家族会第1回役員会
5月	健康診断 西予老施協合同遠足 里帰り 5月人形かざり	青山塾研修 事故防止研修 虐待防止研修 個人情報保護法研修	家族会総会 県老施協第1回総会 火災避難訓練及び消火訓練 広報誌55号発行
6月	里帰り あじさい杯 お楽しみ外出 (風船レクバレー)	感染症・食中毒予防研修	
7月	そうめん流し 里帰り	青山塾研修	
8月	夕涼み会、七夕飾り 里帰り、お盆帰省 七夕杯(レク)	看取りに関する研修	広報誌56号発行
9月	芋炊き、里帰り 敬老会、西予市演芸大会	ボジショニング研修	夜間避難訓練(地域合同)
10月	保育所との交流 里帰り、秋祭り見学	青山塾研修 感染症・食中毒予防研修	西予老施協職員交流会
11月	乙亥相撲観戦 野村学園記念祭参加 運動会(レク)	口腔ケア研修	家族会第2回役員会 広報誌57号発行
12月	忘年会 クリスマス飾り 餅つき、風船バレー大会 イルミネーション見学	非常・緊急時対応研修 AED講習	大掃除(家族会) 地震・風水害避難訓練
1月	お年とり、初詣 新年会、カラオケ お楽しみ弁当 魚釣り大会(レク)	青山塾研修 認知症研修と発表	
2月	節分豆まき	事故防止研修	広報誌58号発行
3月	雛かざり	青山塾研修	火災避難訓練 県老施協第2回総会 南予老施協第2回総会
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会(サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策)介護マイスター、クラブ活動 しいのみマート、内科検診、選択メニュー、喫茶しいのき、サークル活動、散髪・美容 高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、内部研修、各専門委員会(内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策)法人各委員会、アセスメント委員会(28年度)		
随時	里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、健康診断、歯科検診、避難訓練 相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議(緊急時)		
毎日	朝礼、ミーティング		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,517	101.1%	93.2%
5	1,550	1,498	96.6%	93.6%
6	1,500	1,460	97.3%	96.9%
7	1,550	1,505	97.1%	99.7%
8	1,550	1,505	97.1%	96.5%
9	1,500	1,476	98.4%	95.1%
10	1,550	1,510	97.4%	97.0%
11	1,500	1,404	93.6%	95.1%
12	1,550	1,443	93.1%	96.2%
1	1,550	1,495	96.5%	95.5%
2	1,450	1,415	97.6%	98.4%
3	1,550	1,505	97.1%	101.0%

利用者要介護度別

(H29年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	6	18	26

平均介護度 4.4

男性 10名 女性 40名

平均年齢 87歳

7. 短期入所生活介護事業所しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安全な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に図り、良質なサービス提供に努めます。

(2) 重点事項

①サービス向上と環境改善の取り組み

- ・職員一人一人が食事介助、入浴介助、排泄介助（3大介護）のスキルアップに努め利用者様に合ったケアサービスに繋げました。
- ・ケアプランに沿って利用者様一人一人のニーズに応えながらサービス提供に努めました。
- ・経年劣化に伴う全体の空調工事が終了し、快適な生活環境を提供しました。

②安定的な事業経営

- ・事業収入の安定的確保のため稼働率（85%以上目標）の向上に努め安定的な収入に努力しました。
- ・経費節減に全職員で取り組みました。無駄の排除、光熱水費の削減等に努めました。特に電気料は「見える化・聞こえる化」を図ったことにより職員一人一人の意識改革に繋がり大幅な削減ができました。

③人材育成と組織力強化への取り組み

- ・新規採用者及び登用者の職員新人研修をはじめ、施設内研修会や階層別・法人研修会・老施主催研修会等に、積極的に参加させスキルアップを図りました。
- ・エルダー制度の充実により新入育成の強化と先輩職員の成長に繋がりました。また介護福祉士等の資格取得の推進に取り組みました。
- ・報告、連絡、相談（ホウレンソウ）の励行に努めました。
- ・職員交流等（互助会）を通して、施設の一員としてのチーム力強化に努めました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	利用者様のニーズに応じたケア	<ul style="list-style-type: none">・生活歴や職歴から個々に沿ったニーズに応えサービスを提供しました。・顧客満足度調査を実施し、利用者様や家族様の意向の確認を行い、サービスの質の向上を図りました。
	家族様との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none">・利用される利用者様には事前に状況確認を行い、退所時には利用期間中の様子等を報告しました。・家族様とのコミュニケーションを密にし、信頼関係の構築に努めました。
	安全で楽しく美味しい食事の提供	<ul style="list-style-type: none">・利用者様と一緒に食事やおやつ作りを行ったりして楽しく美味しい食事を提供しました。・誕生日には、職員のコメントをいただき、誕生カードの提供を行いました。・季節や行事に由来した行事食、旬の食材を取り入れて季節を感じられる食事を提供しました。
	身体拘束廃止	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束廃止委員会で検証を行い、拘束の早期解除に努めました。

	安心・安全な生活の提供	・ヒヤリハットや事故報告書等をユニット、委員会等で検証し、大きな事故に繋がらないよう事故防止に努めました。
	健康管理・機能訓練	・看護師、ケアマネ、相談員、介護職が連携し、日常の健康状態を把握し、状態変化の早期発見・治療に努めました。 ・利用者様が生活意欲を持って日々を過ごせるよう、日常生活を通じて機能維持を図る動作訓練を実施しました。
	感染症の予防	・手洗い、うがいの励行を周知徹底し、季節問わず感染症予防に努めました。
施設設備の充実	安心・安全で快適に過ごせる環境作り	・6月末に第二期空調工事が終了し、快適な環境を提供しています。 ・毎月、福祉機器の点検を行い、修繕箇所や危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。
地域との連携	地域資源の活用	・保育所、小中高の学生、地域ボランティアの方との交流を行いました。
	地域行事への参加	・法人でボランティア清掃作業の実施や町内盆踊りに参加しました。
	広報誌の発行	・広報誌「しいのき」を年4回発行し、家族様に情報を提供しました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・必須研修および職員一人一人のスキルアップを目指した研修会を計画通り実施しました。
	外部研修会の実施	・専門的な知識や技術を習得するため、外部研修会に積極的に参加しました。
	エルダー制度の導入	・後輩はもちろんのこと先輩職員も共に成長できたと思いますが、エルダー同士の指導の温度差が課題にあがります。
経営基盤の強化	適正収入を確保し安定経営	稼働率85%以上を目標に取り組み、94.8%の稼働率でした。
	コスト削減の意識の強化	・水道光熱費は、デマンドの仕組みが理解できつつあり、電気料に対しての意識に変化が見られ大幅な削減に繋ぎました。 ・介護用品（パッド等）の勉強会を開催しパッドの使い分けと適切な交換回数を研究してコスト削減に努めました。しかし、コスト意識の共有ができませんでした。 ・日用品は他社メーカーから頂いた価格表を検証しコスト削減に努めました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・リフレッシュ休暇取得が年度末に多くなり計画的な取得ができませんでした。
	労働災害の防止・健康管理	・全職員対象にストレスチェックを実施しました。結果報告書は各人に渡されました。 ・1月に職員への聞き取りを行い、少しでも良い職場環境で働きやすく安全・安心して勤務できるよう改善点を整えたり、職場での人間関係が「こころの病」にならないよう努めました。 ・全職員対象に定期健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の健診を実施しました。
	職員間の交流	・互助会等で、定期的な交流行事を行い職員同士の親睦を図りました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	その 他
4月	園内お花見	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 医療行為のに関する研修	西予老施協総会 南予老施協第1回総会
5月	5月人形かざり	事故防止研修 虐待防止研修 個人情報保護法研修	県老施協第1回総会 火災避難訓練及び消火訓練 広報誌55号発行
6月	あじさい杯 (風船レクバレー)	感染症・食中毒予防研修	
7月	そうめん流し		
8月	夕涼み会 芋炊き	看取りに関する研修	広報誌56号発行
9月	七夕飾り 七夕杯(レク)	ポジショニング研修	夜間避難訓練(地域合同)
10月	保育所との交流	感染症・食中毒予防研修	西予老施協職員交流会
11月	運動会(レク)	口腔ケア研修	広報誌57号発行
12月	忘年会 クリスマス飾り 餅つき	非常・緊急時対応研修 AED講習	地震・風水害避難訓練
1月	お年とり 新年会(カラオケ) お楽しみ弁当 魚釣り大会(レク)	認知症研修と発表	
2月	節分豆まき	事故防止研修	広報誌58号発行
3月	雛かざり		火災避難訓練 県老施協第2回総会 南予老施協第2回総会
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会(サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策) 介護マイスター、クラブ活動 しいのみマート、喫茶しいのき、散髪・美容、高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、内部研修、各専門委員会(内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策) 法人各委員会、アドバイザリ委員会(28年度)		
随時	バイキング、地域交流、避難訓練、相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議(緊急時)		
毎日	朝礼、ミーティング		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	281	93.7%	87.7%
5	310	291	93.9%	91.3%
6	300	279	93.0%	89.3%
7	310	305	98.4%	85.2%
8	310	295	95.2%	92.3%
9	300	293	97.7%	82.0%
10	310	307	99.0%	86.8%
11	300	319	106.3%	87.0%
12	310	306	98.7%	81.0%
1	310	264	85.2%	83.5%
2	290	272	93.8%	81.4%
3	310	256	82.6%	85.8%
合計	3,660	3,468	94.8%	86.1%

利用定員 10名
 平均介護度 3.3

8. 特別養護老人ホーム寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者様本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者様のご家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 重点事項

①各種ケア（入浴、排泄、食事）の明確化

・介護アドバイザーの参画2年目は、昨年度からの取り組みを継続しながら、新たに外構を加えて、各部門の目標に沿った年間スケジュールをたて、取り組みの進捗状況を明確化し、多方面からの改革に取り組んでいるところです。

・三大介護業務の見直しが徐々に進み、オムツ外しによるコストダウン、入浴技術のスキルアップによる特浴者数の減少等、数値的に見える改革の成果もあり、職員の意識が徐々に変わってきた。

②個別の生活習慣の確立(外出、生活環境改善)

・昨年度に引き続き、利用者様の希望に沿った形での計画された外出だけでなく、利用者様の急な希望から『今、いくしかないでしょう！』といった、計画のない外出も実現できました。

時には、利用者様の思いだけでなく、ご家族の思いを実現するために、ご家族の協力のもと、懐かしい我が家に帰られたこともあります。

まだまだ数少ない事例ですが、ご家族との繋がりを深め、利用者様がこれまで生きて来られた歴史（人生）を知ることで、利用者様への新たなアプローチでの接し方、生活環境（居住環境）の改善へつながったこともあります、その人の人生を知ることの大変さを職員が実感できるようになってきました。

③働きがいのある職場環境づくり（職員満足度の向上）

・リフレッシュ休暇も事前に申し出ることで、計画的な取得が可能となりました。

・業務の見直しでは、日中の業務改革だけでなく、夜勤時間の短縮を行い、職員の負担軽減に努めました。

・衛生管理委員会では、「新入社員の健康管理」、「心疾患について」、「睡眠について」など、毎月テーマを設け、全職員への周知を図りました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
ご家族との連絡の徹底	利用者様の意向にそったケアの実施	<ul style="list-style-type: none">・定期的なカンファレンスを実施できました。・ケアプランの中にハッピープランを十分に盛り込んでいません。・顧客満足度調査を実施し、意向の確認を行いました。
	ご家族との連絡の徹底	<ul style="list-style-type: none">・カンファレンスの案内時や広報誌を利用して、苑での様子を伝えました。
	ご家族との交流	<ul style="list-style-type: none">・里帰りを計画し、地域の方との交流をしました。・家族会総会、夏祭りなど、ご家族と交流が出来るような行事を実施しました。・ご家族が来苑時は、喫茶コーナーを活用しました。

サービスの質の確保	安全で美味しい樂しめる食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、バイキングや行事食を計画的に実施しました。 利用者様と食事作りやおやつ作りと一緒に行うことで、美味しい樂しめる食事の提供に努めました。
	利用者様の安全確保と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 介護動作時の事故件数が多くあり、業務の見直し、介護技術向上等の研修会を実施しています。
	身体拘束・虐待廃止対策	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の委員会で、虐待及び身体拘束ゼロ対策について話し合いました。 事例検討会を内部研修会で実施、全職員への周知を図りました。
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 集団感染（インフルエンザ）を発症したため、再度、感染予防対策について、全職員へ周知しました。
施設設備の充実	安心して、楽しく暮らせる環境作り	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、福祉器具及び危険個所の点検、整備を実施しました。 利用者様にあった食堂のテーブルや椅子の整備を行いました。 交流スペースに喫茶コーナーを設け、ご家族との面会時などに活用しております。
地域との連携	地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアの方や小・中学校などとの交流を図りました。
	地域行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> 地方祭や地域の行事に参加、地域の方との交流を図りました。
	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民参加の夜間避難訓練を実施しました。 防犯対策の研修会及び訓練を実施しました。
	広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の広報誌発行に加え、ホームページでも苑の様子を随時発信しました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 委員会を立上げ、必須研修やスキルアップ研修を計画的に実施しました。
	外部研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各種専門知識を高める研修会への参加を、計画的に実施しました。 自主研修に参加できるよう勤務の調整を行いました。
	エルダー制度(新人育成)の導入	<ul style="list-style-type: none"> エルダー制度を活用し、新人・エルダーの育成を行いました。 成長カードの活用を、新人職員だけでなく全職員に実施しました。
経営基盤の強化	適正収益を確保し安定した運営	<ul style="list-style-type: none"> 長期入院される方や、インフルエンザの発症などで体調を崩される方が多かったため、稼働率の向上が図れませんでした。
	設備・消耗品に対してのコスト意識の強化	<ul style="list-style-type: none"> デマンド監視装置を設置し、電気使用量のコストダウンにつなげました。 コストダウンについて、職員会等で検討しました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	<ul style="list-style-type: none"> 事前に申し出て、計画的に取得できるよう勤務の調整を行いました。
	業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 昨年から継続して実施しているRX組介護塾と並行して、業務（夜勤体制他）の見直しを行っています。
	職員間の懇親会	<ul style="list-style-type: none"> 懇親会にて定期的な交流会を実施しました。
	労働災害の防止	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に点検をおこない、その都度環境整備を行いました。 毎月、衛生管理委員会をおこない、労働災害防止に努めました。 朝のミーティング時にストレッチ体操を行いました。

(4) 実施事業

月	行 事	研修 (OJT)	その 他
4月	苑内お花見 老施協合同遠足（3名） 健康診断（利用者・職員） ふる里訪問（2名） ドライブ（大洲）2名	新任職員研修会 医療行為（吸引・経管栄養酸素） R X組介護塾① 虐待防止研修会	職員会 日の寄進ボランティア ひだまり19号発行 避難訓練（消火・地震） 今田地区道作り参加
5月	梅狩り・外出・外食（八幡浜）4名 野村高公開授業参加（2名） ふる里訪問（宇和）2名	感染症予防・事故対策研修 感染症予防研修会 ポジショニング研修会	職員会 退職女教師の会ボランティア
6月	そうめん流し どろんこ祭り見学（5名）	R X組介護塾② 事故防止対策研修会	城川中職場体験（2名）
7月	夏まつり 歴史博物館見学（4名） ふる里訪問（1名）	排泄ケア研修会	職員会 ストレスチェック（全職員） 夏休みチャレンジボランティア ステップ他ボランティア
8月	敬老の式典 老施協演芸大会（10名） ドライブ（宇和：3名） 城川中運動会見学（2名）	身体拘束廃止研修	ひだまり20号発行 竹内舞踏ボランティア 城川キッズ交流会（11名） 職員会
9月	避難訓練（夜間想定） 野村学園創立記念祭（2名） 秋祭り参加（遊子川：2名）	R X組介護塾③ 防災対策（心肺蘇生・AED） 酸素ポンペの使用方法	城川中職場体験（6名） 人権擁護委員交流会（12名）
10月	地方祭（牛鬼、御輿）来苑 イルミネーション見学 奥伊予ふるさと祭：（4名） 乙亥祭り見学（3名）	感染症対策	職員会 インフルエンザ予防接種（全利用者・全職員）
11月	苑内餅つき クリスマス会・忘年会 城川小交流会（秋祭り） イルミネーション見学	虐待予防研修	職員会 シェイクアウト防災訓練 城川中清掃ボランティア（15名） 家族会清掃ボランティア
12月	年頭あいさつ 新年会	R X組介護塾④	ひだまり21号発行 城川小職場見学（14名） 吉田町老人クラブみかん慰問 避難訓練（防犯対策）
1月	節分豆まき	褥瘡対策研修会	職員会
2月	ひなまつり 買い物外出（野村：2名） 外出・外食（大洲：4名）	R X組介護塾⑤ 事故防止対策研修会	職員会
毎月	運営委員会・介護士会・デイサービス会・ミニ喫茶・バイキング・誕生会 各専門委員会（給食、褥瘡予防、感染症予防、事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修） 高齢者部会介護技術伝達講習会・精神科回診（第3火曜日）		
定期	入所検討委員会（3ヶ月毎）・カンファレンス・エルダー委員会・職員会・内科回診（月・木）		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・ふるさと訪問・内部研修会・法人研修会		
毎日	ストレッチ体操、ハイタッチ運動		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人數	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,450	96.7%	95.5%
5	1,550	1,503	97.0%	97.4%
6	1,500	1,468	97.9%	96.8%
7	1,550	1,536	99.1%	96.7%
8	1,550	1,485	95.8%	95.1%
9	1,500	1,380	92.0%	96.1%
10	1,550	1,524	98.3%	90.4%
11	1,500	1,436	95.7%	95.9%
12	1,550	1,433	92.5%	96.1%
1	1,550	1,460	94.2%	95.2%
2	1,400	1,265	90.4%	91.0%
3	1,550	1,443	93.1%	95.5%
合計	18,250	17,383	95.2%	95.1%

利用者要介護度別 (H29年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	2	10	17	21

平均介護度 4.14

平均年齢 84歳

男性 13名 女性 37名

9. 短期入所生活介護事業所寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者様本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者様のご家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 重点事項

- ①各種ケア（入浴、排泄、食事）の明確化
 - ・特養と同様

- ②利用者様の在宅での生活が維持できるよう、心身機能の維持に努めると共に、ご家族の方の介護負担軽減を支援。
 - ・ご家族および居宅ケアマネとの連携により、効率の良い利用が出来るよう随時調整を行い、ご家族の介護負担軽減に努めました。
 - ・身体機能の維持向上については、ケアプランに沿った機能訓練を行いました。
 - ・送迎車両がデイサービスセンターとの兼ね合いで、ご家族が希望する時間帯の送迎が困難となる場合があった。

- ③働きがいのある職場環境づくり（職員満足度の向上）
 - ・特養と同様

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
サービスの質の確保	利用者様とご家族の意向にそったケアの実施	<ul style="list-style-type: none">・居宅のケアプランに沿ったケアを行い、利用者様の在宅生活が維持できるように支援しました。・担当者会に参加し、利用者様やご家族の意向確認を行いました。
	ご家族との連絡の徹底	<ul style="list-style-type: none">・送迎時にご家族と状態の報告を行いました。・担当ケアマネと連携をとり、ご家族との連絡をとりました。
	安全で美味しい楽しめる食事の提供	<ul style="list-style-type: none">・食事作りやおやつ作りに参加して頂きました。・旬の食材や嗜好を取り入れた食事、行事食の提供を行いました。
	利用者様の安全確保と事故防止	<ul style="list-style-type: none">・利用者様の状態を共有し、安全に介護できるように努めました。・事故対策委員会を毎月行い、事故の検証、再発防止に努めました。
	身体拘束・虐待廃止対策	<ul style="list-style-type: none">・特養に準じて実施しました。
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none">・インフルエンザ発症時には、利用者様に電話連絡を行い、利用の再確認を行いました。
施設設備の充実	安心して、楽しく暮らせる環境作り	<ul style="list-style-type: none">・在宅生活に近付けた環境で、その人らしく過ごせるよう配慮しました。
地域との連携	小中学校との交流	<ul style="list-style-type: none">・特養に準じて実施しました。
	防災対策	<ul style="list-style-type: none">・特養に準じて実施しました。
	広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none">・特養に準じて実施しました。

経営基盤の強化	適正収益を確保し安定した運営	・在宅ケアとの連携を強化し、情報交換、共有を行い、利用者様の安全確保に繋げました。 ・1月から3月にインフルエンザが集団発生し、利用キャンセルが多かったです。(91.2%)
	設備・消耗品に対してのコスト意識の強化	・特養に準じて実施しました。

(4) 実施事業

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月	苑内お花見	(職員対象の研修等は、特養に準じて実施しました)	
5月	避難訓練(地震想定)		
6月	梅狩り		
7月	そうめん流し		
8月	夏まつり		
9月	敬老の式典		
10月	避難訓練(夜間想定)		
11月	地方祭(牛鬼、御輿)来苑 紅葉狩り		
12月	苑内餅つき クリスマス会・忘年会		
1月	年頭あいさつ 新年会		
2月	節分豆まき		
3月	ひなまつり		



(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	273	91.0%	94.7%
5	310	297	95.8%	91.9%
6	300	290	96.7%	82.3%
7	310	312	100.6%	95.8%
8	310	289	93.2%	101.0%
9	300	254	84.7%	95.7%
10	310	306	98.7%	97.4%
11	300	279	93.0%	98.3%
12	310	293	94.5%	90.0%
1	310	263	84.8%	78.1%
2	280	238	85.0%	96.2%
3	310	235	75.8%	87.7%
合計	3,650	3,329	91.2%	92.4%

利用定員 10名
平均介護度 3.3

10. デイサービスセンター寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者様本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者様のご家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 重点事項

①各種ケア（入浴、排泄、食事）の明確化

- ・個々の身体能力に合わせた個別ケアに実践し、また改善に向けたミーティングを行いました。
- ・利用者様・ご家族および居宅ケアマネとの連携を密にし、ニーズの収集に努め、柔軟な取り組みに努めました。
- ・全職員への情報の周知徹底が、不十分なため、今後改善を図りたい。
- ・トイレは開設当初のままであり、改修に向けた取り組みを行いたい。
- ・業務内容の見直しを行い、年末年始の営業日を増やしました。

②利用者様の在宅での生活が維持できるよう、心身機能の維持に努めると共に、ご家族の方の介護負担軽減を支援。

- ・ご家族および居宅ケアマネとの連携により、利用者様が効率の良い利用が出来るよう、随時調整を行い、ご家族の介護負担軽減に努めました。
- ・身体機能の維持向上については、ケアプランの内容に即した通所介護計画書を作成し、その方に必要な機能訓練を行いました。
- ・送迎車両の定期的な点検整備を実施し、安全な送迎に努めました。
- ・経年劣化している送迎車両の買い替えを計画的に行っていきたい。
- ③働きがいのある職場環境づくり（職員満足度の向上）
 - ・特養と同様

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
安心して利用できるデイサービスづくり	利用者様のケアプランに基づくサービスの提供	・各担当ケアマネと調整を行い、個別対応のプランに反映することが出来ました。
	安全で美味しく楽しめる食事の提供	・食事に関する嗜好調査を実施し、食事を楽しむ環境を作ることが出来ました。 ・個々の状態を確認し、食事形態の対応が出来ました。
	利用者様の安全確保と事故防止	・ミーティング時に各利用者の状態報告を実施しました。 ・ヒヤリハットの報告が少なく、気づきからの事故防止に繋げる体制になっていない。
	身体拘束・虐待廃止対策	・入所施設と連携し、研修会などに参加しました。 ・身体拘束および虐待防止は、有りませんでした。
	防災対策	・特養に準じて実施しました。
介護技術の向上	ご家族との連絡	・顧客満足度調査実施し、利用者様やご家族の意向を確認し、改善に努めました。 ・状態変化等の報告を連絡ノート、電話連絡、送迎時等に行なうことが出来ました。
	内部研修会	・特養に準じて参加し、個々のスキルアップに努めました。
	外部研修	・各種専門知識を高める研修会への参加を、計画的に実施しました。 ・自主研修に参加できるよう勤務の調整を行いました。
地域とのつながり	エルダー制度(新人育成)の導入	・エルダー制度を活用し、新人・エルダーの育成を行いました。 ・成長カードの活用を、新人職員だけでなく全職員に実施しました。
	地域資源の活用	・特養に準じて実施しました。
経営基盤の強化	広報誌の発行	・計画していた時期より遅れたが、『ディだより』を3回発行することができました。
	適正収益を確保し安定した運営	・新規利用者の受入れや利用日変更等で、稼働率増となりました。 ・特養でインフルエンザの感染があり、予防のために利用を休まれる方が多くあったが、1日平均19.8名でした。(78.8%)
	設備・消耗品に対してのコスト意識の強化	・デマンド監視装置を設置し、特養に準じコストダウンにつなげました。 ・コストダウンについて、職員会等で検討しました。
	リフレッシュ休暇の計画的取得	・事前に申し出て、計画的に取得できるよう勤務の調整を行いました。
働きやすい職場環境づくり	業務の見直し	・ミーティング時や職員会で検討し、見直しや改善を行っていきました。
	職員間の懇親会	・懇親会の行事に参加し、親睦を深めました。
	労働災害の防止	・定期的に点検をおこない、その都度環境整備を行いました。

(4) 実施事業

月	行 事	研修(OJT)	そ の 他
4月	苑内お花見	研修等は、特養に準じて実施しました	職員会
5月	健康診断(職員)		デイだより発行① 避難訓練(地震想定)
6月	梅狩り		特養との合同職員会
7月	そうめん流し 七夕まつり		
8月	納涼祭		特養との合同職員会
9月			特養との合同職員会
10月	避難訓練(夜間想定)		
11月	地方祭(牛鬼、御輿)来苑		特養との合同職員会 デイだより発行② インフルエンザ予防接種(全職員)
12月	クリスマス会・忘年会		特養との合同職員会
1月	年頭あいさつ 新年会		
2月	節分豆まき、お楽しみ会		デイだより発行③ 特養との合同職員会
3月	ひなまつり		特養との合同職員会

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	650	512	78.8%	68.3%
5	650	530	81.5%	68.8%
6	650	524	80.6%	69.8%
7	650	533	82.0%	72.0%
8	675	517	76.6%	75.2%
9	650	545	83.8%	73.7%
10	650	548	84.3%	70.8%
11	650	523	80.5%	75.5%
12	600	450	75.0%	70.7%
1	550	428	77.8%	66.7%
2	600	434	72.3%	75.2%
3	675	487	72.1%	76.3%
合計	7,650	6,031	78.8%	71.9%

利用定員 25名

1日平均利用 19.82人 78.80%

営業日 月曜日から土曜日の週6日

介護度状況(平成29年 3月末現在)					事業対象者	3
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
22	23	10	12	9	10	9

平均介護度 2.5 (要支援・第1号対象者を除く)

11. 養護老人ホーム奥伊予荘

(1) 行動指針

- ①入所者の意思及び人格を尊重し、常に入所者の立場に立って処遇を行います。
- ②入所者の能力に応じ、健康で自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。
- ③地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、地域福祉の増進に努めます。
- ④職員は専門的知識及び技術の習得と向上を図り、自己研鑽に努めます。

(2) 重点事項

① 経営改善、基盤の確立

民間施設給与改善費、障がい者加算等の各種加算の申請、稼働率97%により収入増。また、人件費・給食委託費の支出の減となり、繰入することなく施設整備等積立資金に積立することができました。

ユニット入り口に仕切り戸を設置・水道蛇口に、節水コマ設置・乾燥機使用の軽減・デマンドの見える化等により、水道光熱費・燃料費の削減と職員のコスト意識も定着しつつあります。

② 西予市福祉計画7期に向けた新事業体制展開の検討

西予市高齢者人口は平成28年でピークを迎え、その後は減少するものの、生活困窮者や独居高齢者は同じ間隔で減少するのではなく緩やかな減少に留まり、今後貧富の差がより大きくなり、措置施設は今以上に重要になってくると考えられます。

生活困窮者等行き場のない高齢者を可能な限り受け入れ、養護老人ホームの役割をさらに高めることになる特定施設への事業展開を進め、複雑かつ急増するニーズに対応できるよう西予市長寿介護課職員と協議を始め西予市福祉計画7期に組み込んで頂くよう29年度には要望書を提出することになっております。

③ 重度化傾向になる入所者様への対応

介護認定保持者が増加し、重度化傾向に向かっている入所者様の対応として、デイサービス・訪問介護・訪問入浴・福祉器具貸与等の居宅サービスの申請により、養護施設にいても生活しやすい環境づくりに努めました。

食事提供に関しても、個々に合った形態を考慮し、刻み食からミキサー食へ、嗜好を重視した食事内容、個々に合った食器等重度化に対応しました。

通院介助は、27年度373回が28年度には577回と急激に増加しており、看護師・支援員等協力し行っていますが、通院介助は限界にきている状態です。

④ 生きがいがもてる生活の提供・自立生活の維持

個々の趣味の充実・こづかい自己管理・地域行事への参加・洗濯物の管理・希望外出の実施等、また自分で出来ることは行うことを基本とし、本人に自信を持っていただくよう支援いたしました。外出等が増え笑顔が多くみられるようになっています。

⑤ 第三者評価の実施

西予市野城総合福祉協会になり2年目の審査で、従来の西予市経営時の良いところは残し協会の風も入れながら模索しながらの施設運営の現状と課題をありのままに評価して頂き、施設として抱えている現状や問題点を把握することができました。

また、業務全般を見つめ直す良い機会となり、職員の意識改革に繋がりました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
業務改革の推進	運営計画書作成	・今までなかった、運営計画書を作成することにより、職務分担の明確化、各対応マニュアルにより、対応の統一化をすることができました。
	入浴改善	・週4回の入浴日を週6回に改善し1日に入浴される入所者数を減らすことにより、入所者様はゆっくりと入浴でき、待ち時間も少なくなりました。
	ご家族との連絡の徹底	・月に一度は近況報告をすると共に、常日頃からご家族との信頼関係を築くよう努めましたが、連絡が取れない家庭も多くなってきている状態です。 ・広報誌発行時には、入所者様の生活の様子等を通信欄に記入しご家族に周知することができました。
	安全で美味しく楽しめる食事・おやつの提供	・月1回ユニットごとに、旬の食材と嗜好を取り入れた季節感のある食事作りに参加して頂き、楽しみを提供することができました。 ・月1回のホーム喫茶も、入所者様の希望おやつを取り入れ、広々としたホールで、楽しく食することができました。
	利用者様の安全確保と事故防止	・事故に対する意識を高めるため、毎月委員会を開催し事故事例の再検討を実施しました。感知センサーをつけ、事故防止に努めています。 ・ヒヤリハット、事故報告書は、全員が目を通し再発防止に向けた取り組みや意識を持つよう閲覧場所を設置し周知するように努めました。
	感染症の予防	・感染症対策委員会と連携しながら、週2回の職員・入居者様による荘内の消毒をすることにより、食中毒・ノロウイルス・インフルエンザ等の予防に努め、集団感染ゼロを目指しましたが12月インフルエンザが荘内に発生致しました。
ケアプラン・カンファレンスの充実	異業種参加のケアカンファレンスの開催	・支援員・看護師・栄養士・相談員が定期的に入所者様の状態把握・支援方法を協議し、共通認識に努めました。また、マニュアルや書式の統一を図りました。入所者の希望を(ハッピープラン)計画にくみ込み、実現に向けて取り組む体制づくりに努めました。
自立生活に向けての取り組み	こずかい自己管理	・低額こずかい自己管理者の入所者様を増やし、惣菜やパンの移動販売等を楽しみにされている方の、購売の見守り、町内外の外出時の買い物・外食等に助言や支援を行い、楽しみ・生きがいのある支援に努めました。
	地域行事への参加	・地域行事、学校行事に、希望者が少人数で参加することができました。しかし入所者様個々のニーズに答えることはできません。
	自分で行う意識作り	・自分で出来ることは自分で行う意識を持ち、個々の能力に応じ、洗濯・洗濯物たたみ、漬物の自己管理等、少しの支援で自立した日常生活をしていただくよう支援しました。
	趣味の充実	・野菜・花づくり・かご作成、販売することに意欲を持っていただき、今までの地域生活の継続に努めました。 ・カラオケやトランプ、塗り絵、折り紙、くす玉づくり等趣味生活の作品の披露する場を設け、やりがいを感じて頂ける様努めました。

リハビリ運動の継続・口腔ケアの取り組み	リハビリ運動	9時からラジオ体操・朝礼後より足踏み体操・16時よりホールにて可動域を広げる運動を継続し、体力維持に取り組みました。6割の人所者の方は運動に参加して頂いていますが、重度化と本人の意思により参加されない方もおられました。
	口腔ケア	口腔ケアについては、重度の人所者様は介助のもとケアすることができました。しかし元気な人所者様は、確認が難しい現状であり、声掛け支援に努めましたが、拒否される人所者様も多数おられます。ボリデントの使用も勧めています。
第三者評価の実施	課題の把握	今後は、明確になってきた課題・地域貢献・終末期の対応に対して、改善に向けて取り組んでいきたいと考えております。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見 五月人形(飾り付け) しゃくなげ見学外出	事業計画と施設方針 新任職員研修	西予市老施協総会 福寿会役員会 南予老施協総会
5月	西予市老施協合同遠足 健康診断 ふるさと訪問	基本の介護技術 ・食事・移乗 口腔ケ	福寿会役員会 草刈り 県老施協総会
6月	家族会 年金友の会外出 南楽園外出	基本の介護技術 ・入浴・排泄 食中毒、感染予防	広報誌発行 家族会総会 福寿会役員会
7月	七夕飾り ふるさと訪問 そうめん流し(各ユニット)	事故再発防止 リスクマネージメント	(昼) 避難訓練 福寿会役員会
8月	納涼祭 益法要 ふるさと訪問 西予市老施協演芸大会	個人情報保護 プライバシー保護	草刈り 避難訓練(地震) 第三者評価訪問調査 福寿会役員会
9月	敬老の式典	介護技術(移乗) コンプライアンス	福寿会役員会
10月	地域交流大運動会 ふるさと訪問 買い物外出	身体拘束・虐待防止	草刈り 広報誌発行 福寿会役員会
11月	健康診断(夜勤者採血) 城川中学校文化祭見学 城川小学校支援学級との交流 ふるさと祭外出 乙亥相撲見学	心肺蘇生・応急手当他 高齢者に多い疾患	福寿会役員会 インフルエンザ予防接種
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス、忘年会(ユニット) 餅つき(土居保育所交流)	認知症ケア	避難訓練 福寿会役員会
1月	新年会 初詣	介護伝達講習(心肺蘇生・AED)	福寿会役員会 実地指導監査 広報誌発行
2月	節分 お不動さん	ケアプラン研修	福寿会役員会 (夜) 避難訓練
3月	ひな祭り(飾り付け) 春彼岸法要 いちご狩り外出 退職異動者お別れ会	介護技術	避難訓練(風水害・土砂災害) 県老施協総会 福寿会役員会 南予老施協総会 西予市老施協総会
毎月	職員会・運営委員会・給食委員会・合同ユニット会・処遇委員会・企画委員会 ・事故再発防止委員会・(医療的ケア・感染症対策)~3か月に1回・誕生会 ・ユニット喫茶・ユニット食・ボーリング大会・フジマート販売・福寿会役員会		
定期	・散髪・カンファレンス・ユニット消毒・習字		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・内部研修会・法人研修会・クラブ活動		
毎日	・ラジオ体操・足踏み体操・体操		

(5) 入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	2,070	98.6%	94.8%
5	2,170	2,120	97.7%	98.0%
6	2,100	2,026	96.5%	99.1%
7	2,170	2,072	95.5%	97.0%
8	2,170	2,111	97.3%	96.9%
9	2,100	2,048	97.5%	94.4%
10	2,170	2,127	98.0%	92.1%
11	2,100	2,082	99.1%	91.3%
12	2,170	2,119	97.6%	93.9%
1	2,170	2,084	96.0%	93.1%
2	1,960	1,858	94.8%	96.2%
3	2,170	2,088	96.2%	97.1%
合計	25,550	24,805	97.1%	95.3%

入所者要介護度別

(H29年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
38	4	5	13	6	1	3	0

男性 21名

女性 49名

平均年齢 86.1歳

措置機関別入所状況

西予市 65名

宇和島市 2名

大洲市 1名

鬼北町 2名

12. 奨学金事業

(1) 基本方針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

(2) 重点事項

①奨学生制度の周知

愛媛県南予地区の高等学校に「奨学生のしおり」を配布しました。又リクルート活動時にも、各学校で奨学生制度について説明を行いました。ホームページや広報誌等にも掲載を行いました。奨学生制度に関する問合せも多くあり、徐々に周知されてきています。

②利用促進（奨学生の確保）

平成28年度の奨学生はありませんでしたが、平成29年度の奨学生として、3名の奨学生を決定することができました。公益的な役割を果たすことができ、将来の当協会の人材育成に繋げることができます。

(4) 実施事業

月	事業内容
4	HP掲載
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付
6	協会広報誌掲載、リクルート活動
7	西予市広報誌パンフレット配布、リクルート活動
8	リクルート活動
9	協会広報誌掲載、リクルート活動
10	リクルート活動
12	第1回西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会
1	第2回西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会 平成29年度奨学生決定（3名）

【今後の課題及び展開】

今年度は奨学生事業を開設し2年目となり、奨学生制度について周知されるようになりました。平成29年度の奨学生として3名の学生を決定することができました。現在実施している広報活動を継続し、地域の方との交流がある場面では機会ある毎に奨学生事業の説明を行いたいと思います。

平成29年度奨学生3名については、広報誌を送付したり、ボランティアの受入を行うなど交流を深め、将来の協会職員としての支援をしていきたいと思います。